

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P40)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店 〒

電話 —

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）



修理のご用命は

安心・信頼の
TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休

受付時間：8:00～19:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）

営業時間：9:00～18:00



交換部品・別売品
ご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

※インターネットでの部品購入はTOTOWebショップへ(24時間受付)
<http://www.toto.jp/ec/html/index.htm>

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。
詳細はTOTOホームページをご覧ください。

TOTO株式会社

TOTOホームページ <http://www.toto.co.jp/>

UGX1089S



2013.11
GH05702V5

TOTO

取扱説明書 保証書付

住宅用システムトイレ



まるごとすべてをかなえるレストルームへ

レストパル (床置タイプ)

レストパルF (壁掛タイプ)

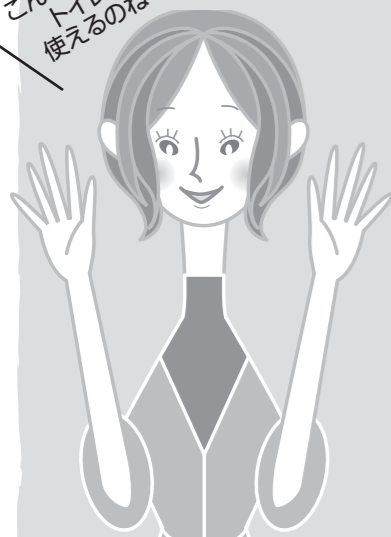
便利機能を楽しむ
使いかた

より清潔に・より長くお使いいただくための
お手入れ

トイレ空間の疑問を解消
こんなときは

レストパルの特長

こんなに快適に
トイレが
使えるのね!



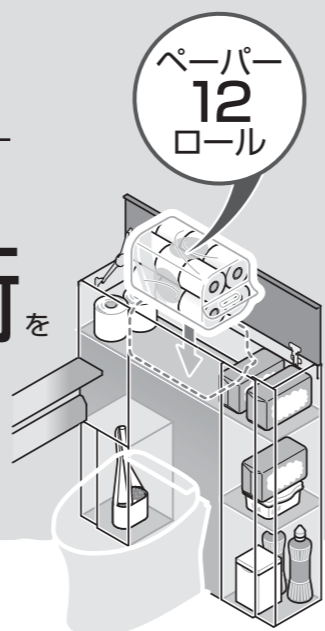
「えっ。このトイレ、
こんなに収納できるの?」

床排水 壁排水

1820 収納術

ページ ページ ご覧ください。

それぞれのタイプごとに
おすすめの収納術をご紹介します!

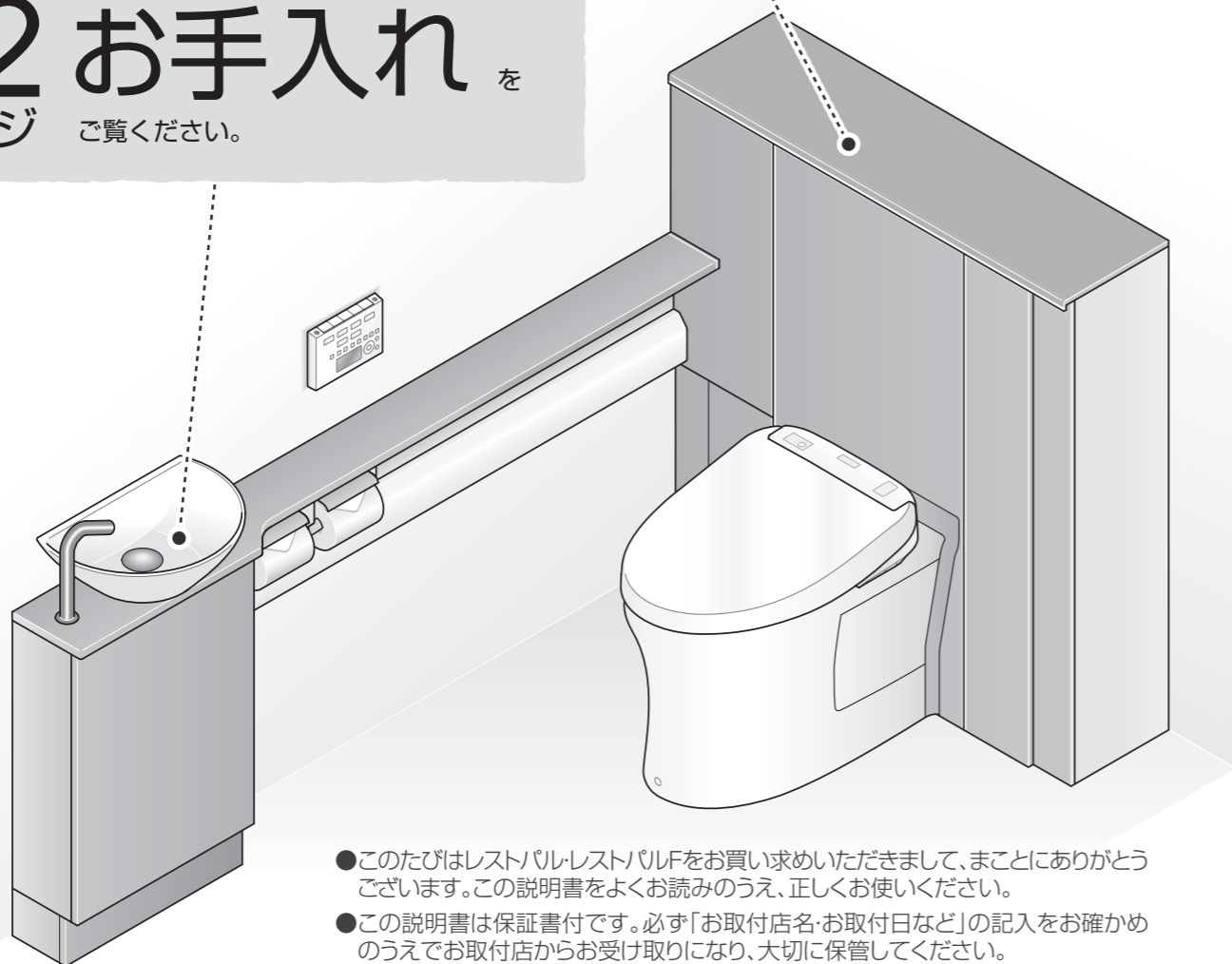


ペーパー
12
ロール

「いつもきれいに保つには?」

22 お手入れ

ページ ご覧ください。



- このたびはレストパルレストパルFをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は保証書付です。必ず「お取付店名・お取付日など」の記入をお確かめのうえでお取付店からお受け取りになり、大切に保管してください。
- 定期的に交換が必要な部品があります。お取付店に確認してください。
- さし絵はレストパル(床置タイプ)で説明しています。
- レストパルF(壁掛タイプ)での相違点は都度記載しています。

もくじ

ウォシュレットについては「ウォシュレット アプリコット」の取扱説明書を参照してください。
また、組み込まれている機器については、付属の取扱説明書を参照してください。

はじめに 4 ページ

お使いの前に必ずお読みください

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
各部のなまえ	10
ご使用前の準備と確認	12

使いかた 13 ページ

知っておきたい使いかた

手洗器を使う	13
自動水栓	見る 自動水栓取扱説明書 ※Mサイズ手洗器の場合
紙巻器を使う	16
キャビネットの扉を開ける	17
棚板高さを変える	17
収納術(床排水)	18
収納術(壁排水)	20
トイレの水を流す	見る ウォシュレット取扱説明書
おしりを洗う	見る ウォシュレット取扱説明書

お手入れ 22 ページ

おそうじをラクにするコツ

お手入れの前に	22
キャビネット・カウンター・手洗器	23
サイドカバー	23
大便器	23
フィルター	28
水栓	28
手洗器排水トラップ	31
電源プラグ	31
床	31
大便器とウォシュレットのすき間	32
ウォシュレット	見る ウォシュレット取扱説明書
電気温水器	見る 電気温水器取扱説明書
自動水栓	見る 自動水栓取扱説明書 ※Mサイズ手洗器の場合

こんなときは 34 ページ

困ったときは

冬場の凍結を防ぐ	34
トイレを長期間使わないとき	37
停電やリモコンの電池が切れたとき	38
断水するとき	38
定期的な点検	39
故障かな?と思ったら	40
便器のQ&A	44
アフターサービス	46
部品の交換	47
仕様	48
保証書	51
ウォシュレット	見る ウォシュレット取扱説明書
電気温水器	見る 電気温水器取扱説明書
自動水栓	見る 自動水栓取扱説明書 ※Mサイズ手洗器の場合

はじめに

使いかた

お手入れ


こんなときは

安全のため必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、つぎのような表示をしています。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保存してください。
- 組み込まれる機器などについては、それぞれの取扱説明書および本体に表示されている事項をお守りください。


 してはいけない「禁止」の内容です。


 必ず実行していただく「強制」の内容です。「必ず守る」を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグ・コンセントは？

 ●濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

 ●100V電源を使用する機器をお手入れするときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となります。

●電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない

傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

●指定する電源交流100V以外では使用しない

結露などにより、火災や感電の原因となります。

●給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない


結露などにより、火災や感電の原因となります。


●ガタついているコンセントは使わない

火災や感電の原因となります。


●電源プラグの刃などについてホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

火災や感電の原因となります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

 ●雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因となります。


 ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く
コードを引っ張ると電源プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。

電気器具は？


 ●修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理改造は行わない
火災や感電の原因となります。


警告

アース工事は？

 ●アース(D種接地)工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。
アース工事はお近くの工事店に依頼してください。


水ぬれ禁止

 ●電気温水器本体・自動水栓の駆動部・スイッチ・コンセント・電源プラグに水・洗剤、小水をかけない
火災や感電の原因となります。

 ●浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
火災や感電の原因となります。
商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。

故障したときは？

●本説明書に記載されている項目以外の分解や修理改造はしない
商品が破損したり、止水・吐水不良したりする不具合により、けがや重大事故、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。


 ●故障したままで商品を使いつづけない
次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。


故障とは…


- 配管や商品から水漏れしている
- 製品から煙がでている
- 商品にひびや割れが入っている
- 製品が異常に熱い
- 異音、異臭がしている

故障したまま使いつづけると火災や感電、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。


使用するときには？

 ●商品に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、寄り掛かったり、強く引っ張ったりしない
商品が破損・落下し、けがやときに死亡の原因となります。

 ●商品が傾いたり、がたつきが発生したら使用を中止する
商品が破損・落下してけがやときに死亡の原因となります。

 ●たばこなどの火気類を近づけない
火災の原因となります。

長期間使わないときは？

 ●長時間使用しないときは、電源プラグを抜く
ほこりがたまり、火災の原因となります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害※の発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

手洗器は？



禁止

- 手洗器の中に芳香洗剤や飾りものなどを置かない
手洗鉢から水があふれたり、手洗器排水管を傷めたりして、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 手洗器にセットされている水栓の固定がゆるんだまま使用しない
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 手洗器に酸性・アルカリ性の洗剤や薬品類を流さない
手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。また、手洗器表面を侵し、割れてけがの原因となります。

配管周りは？



禁止

- 配管カバーに乗らない
商品が破損し、けがをしたり水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 給水ホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで傷つけない
給水ホースが損傷し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



必ず実行

- 凍結による破損の予防を行う
凍結すると給水配管や商品本体内部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

こんなときは P34

フィルターは？



必ず実行

- 給水フィルター、給水フィルター付水抜栓のお手入れするときは、止水栓を確実に締める
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

故障したときは？



必ず実行

- 便器が詰まった場合、市販の吸引器で詰まりを除去する
そのままの状態の水を流すと汚水があふれ家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める
家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

こんなときは P40

注意

使用するときには？



必ず実行

- 床に落ちた小便、洗剤などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取る
放置しておくで床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。
- 陶器・給水管・止水栓の表面に露が発生したり、結露水が床にこぼれた場合は、乾いた布でふき取る
床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあり、財産損害発生の原因となります。

- 商品に強い力や衝撃を与えない
商品が破損してけがの原因となります。
- 商品にかたいものをおとさない
商品が破損してけがの原因となります。
- 扉の開閉時には可動部に手や指を入れない
けがの原因となります。
- 扉を大きく開けすぎたり、勢いよく開けたりしない
扉が外れてけがの原因となります。
- 芳香洗剤、瓶などは、タンク内に入れない
水量が減少し、便器や排水管の詰まりなどになり、汚水があふれて家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、内部器具を傷めたり内部部品にあたり、止水、吐水不良になるおそれがあります。
- タンク上手洗器では石けん類は使わない
止水不良になるおそれがあります。
- 便器には、汚物・トイレtpーパー以外のものは流さない
便器が詰まり、汚水があふれて家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 一度に大量のトイレtpーパーを便器に流さない
便器が詰まり、汚水があふれて家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 天板の調整の際は弱めすぎない
板が早く閉まり、けがの原因となります。
- 陶器部にヒビが入ったり、割れた場合、破損部を絶対に触らない、破損した状態で使用しない
けがの原因となります。
- 落下して破損するおそれのある物はいれない
収納物が破損してけがの原因となります。
- 収納物がはみ出したり不安定になる入れかたをしない
収納物が落下してけがの原因となります。
- 商品に重いものを載せない
落下してけがのおそれがあります。



禁止

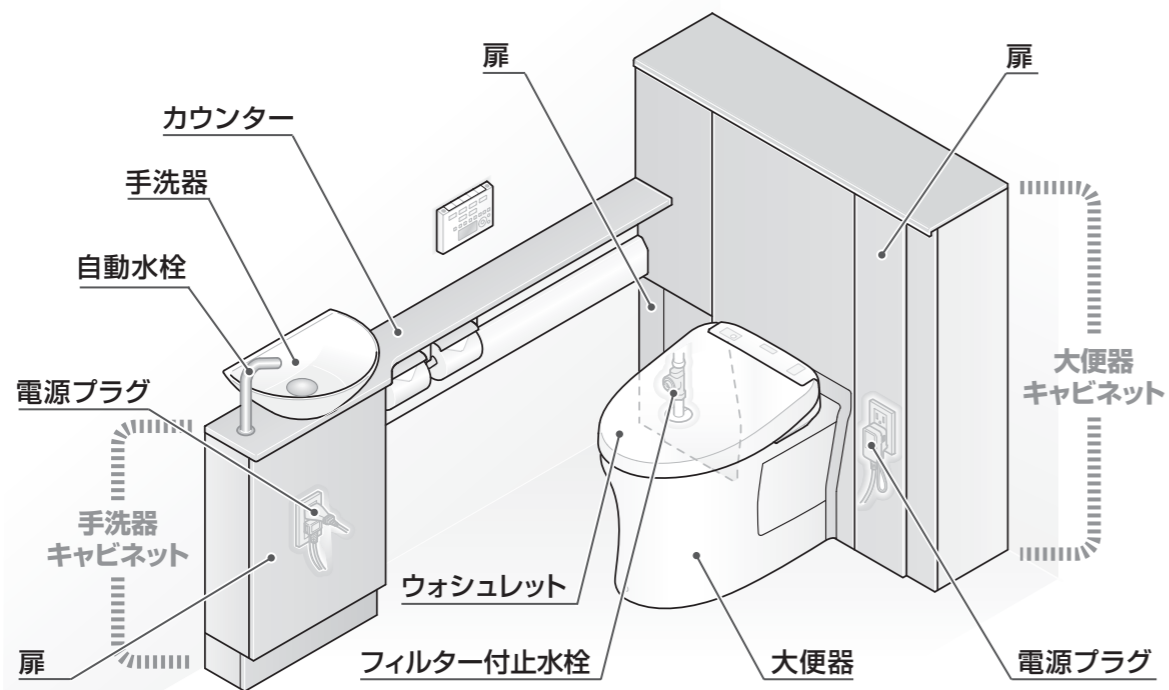


お手入れのときは？



禁止

- 手洗器やキャビネットおよび便器の鉢の中に熱湯を注がない
破損してけがの原因となります。



※レストパルFは大便器および手洗器キャビネットが壁掛タイプとなります。
※品番により各部仕様は異なります。

誤作動を防ぐために！



自動水栓

- 自動水栓タイプの場合、センサーの感知領域内にセンサーをさえぎるものが入らないようにする誤作動の原因となります。

詰まりを防ぐために！



大便器

- 汚物やトイレットペーパーの量に応じて「大」「小」を使い分ける
汚物の大きさや量、比重の違いやトイレットペーパーの量によっては1回の洗浄で完全に流しきれずに残る場合があります。

「大」の目安: 大便約250gまたはトイレットペーパー(シングル)約10mまで流せます。

「小」の目安: 小便とトイレットペーパー(シングル)約3mまで流せます。

「eco小」の目安: 小便(トイレットペーパーは流さないでください。)

これ以上の汚物やトイレットペーパー(シングル)を流すと便器が詰まるおそれがあります。

point!



- 必ずタンク内が満水になってから流す
タンク内が満水になる前に流すと洗浄不良や詰まりの原因となります。

- 小便でも使ったあとは必ず水を流す
そのまま放置すると小便の成分と水道水の成分が結びついて固まり、便器の洗浄不良や詰まりの原因となります。

手洗器

- 手洗器の中に芳香洗浄剤や飾り物などを置かない
タンク内に異物が入ったり、洗浄剤の影響で内部部品の不具合が生じたりして、洗浄不良や止水不良などの故障の原因となります。
(I型手洗器有の場合)

傷つきや破損を防ぐために！



カウンター・キャビネット

- 商品のお手入れするときは、適量にうすめた中性洗剤を使用し、次のものは使わない

酸性洗剤、塩素系洗剤、アルカリ性洗剤、トイレ・バス用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン・シンナー およびクレンザー、ナイロンたわしなど

表面に傷がついたり、変色や変質の原因となります。

お手入れの前に P22

- 異常高温になる場所への設置はさける
- ストーブなど近づけないように注意する
- ヘアドライヤーの熱風を直接当てない
変形・変色の原因となります。

- 洗剤類を収納する場合は、必ずキャップを閉める
洗剤類の液漏れや気化ガスが収納内を侵し、故障・腐食の原因となります。

- 商品にゴム製品を載せない
材質によっては、ゴムの成分がしみ出し、変色のおそれがあります。

- 商品本体は乾いた布やトイレットペーパーなどでふかない
傷つきの原因となります。

お手入れ P23



- 商品にかたいもの(花びんなど)を置いて引きずらない
傷つきの原因となります。

- 扉にテープなど、粘着性のあるものを貼らない
表面仕上げ材のはがれおよび変色の原因となります。

- 商品に消臭剤や芳香剤、石けんや洗剤などを噴霧したり、こぼしたりしない
表面材を浸し、ひび割れ・変色のおそれがあります。万一付着した場合は、水でぬらしてよく絞った柔らかい布などですみやかにふき取ってください。

- 木製の商品に水や洗剤がかかった場合は、そのまま放置しない
表面材のはがれや変形の原因となります。水や洗剤などがかかった場合は、すぐにふき取ってください。

- ヘアピン・カミソリの刃などを放置しない
さびが付着し、取れなくなる場合があります。

- 座ったまま後ろの便ふたに寄りかからない
キャビネットが傷つく原因となります。

- 開いている扉を上から押ししたり、範囲を超えて開けたりしない
変形の原因となります。

- 化粧品を付着させない
変色・破損の原因となります。付着したときはすぐにふき取ってください。化粧品の中には、プラスチックに悪影響を与えるものがあります。

- 直射日光が当たらないようにする
変色の原因となります。

大便器・手洗器

- 陶器表面に金属類時計のバンド、ベルトのバックルなどを強くこすりつけない
黒や銀色のスジ状の跡・汚れの原因となります。

落雷の可能性のある場合



電源プラグ

- 落雷の可能性のある場合、あらかじめ電源プラグを抜く
故障の原因となります。

各部のなまえを確認してください
「お手入れ」「こんなときは」は各該当ページをご覧ください

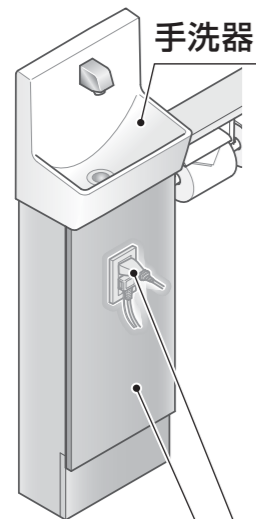


参照 ウォシュレット・電気温水器の詳しい使いかたは、付属の取扱説明書を参照してください。

L型

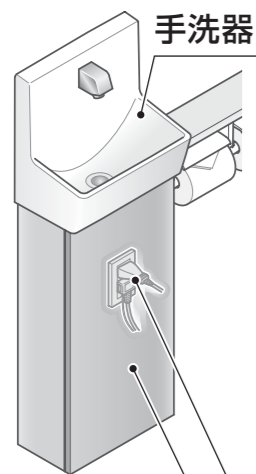
手洗器Sサイズ

レストパル



手洗器キャビネット
 コンセント
 (電気温水器付の場合)

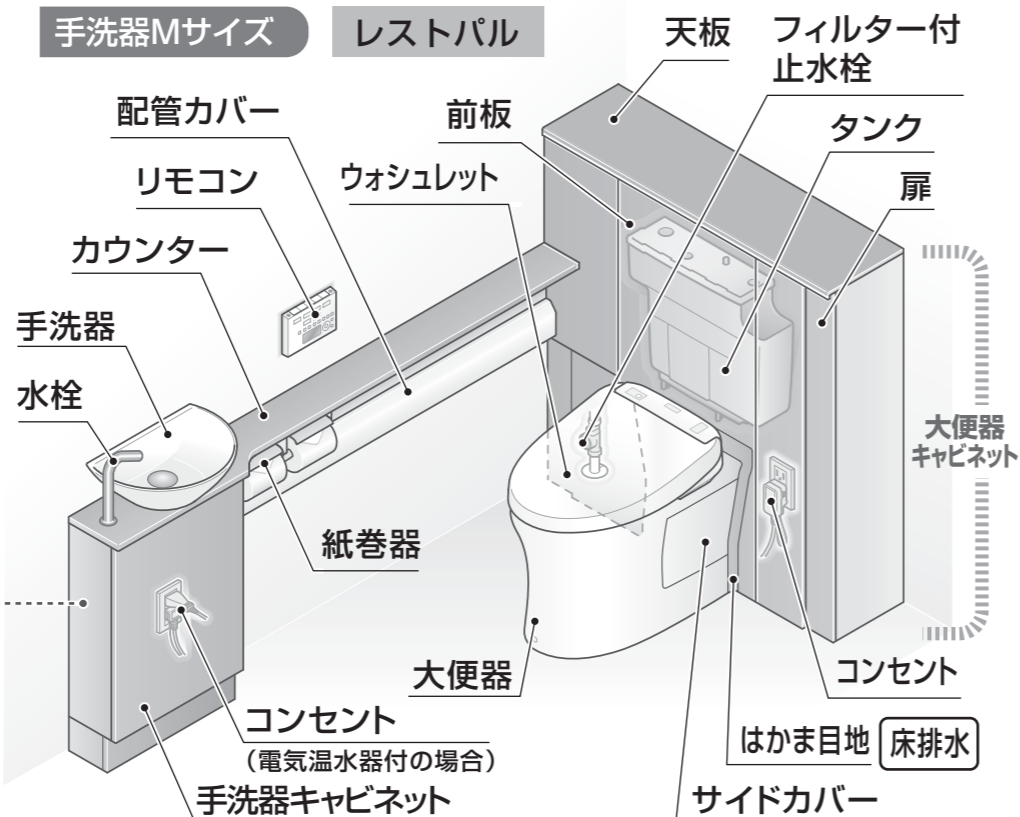
レストパルF



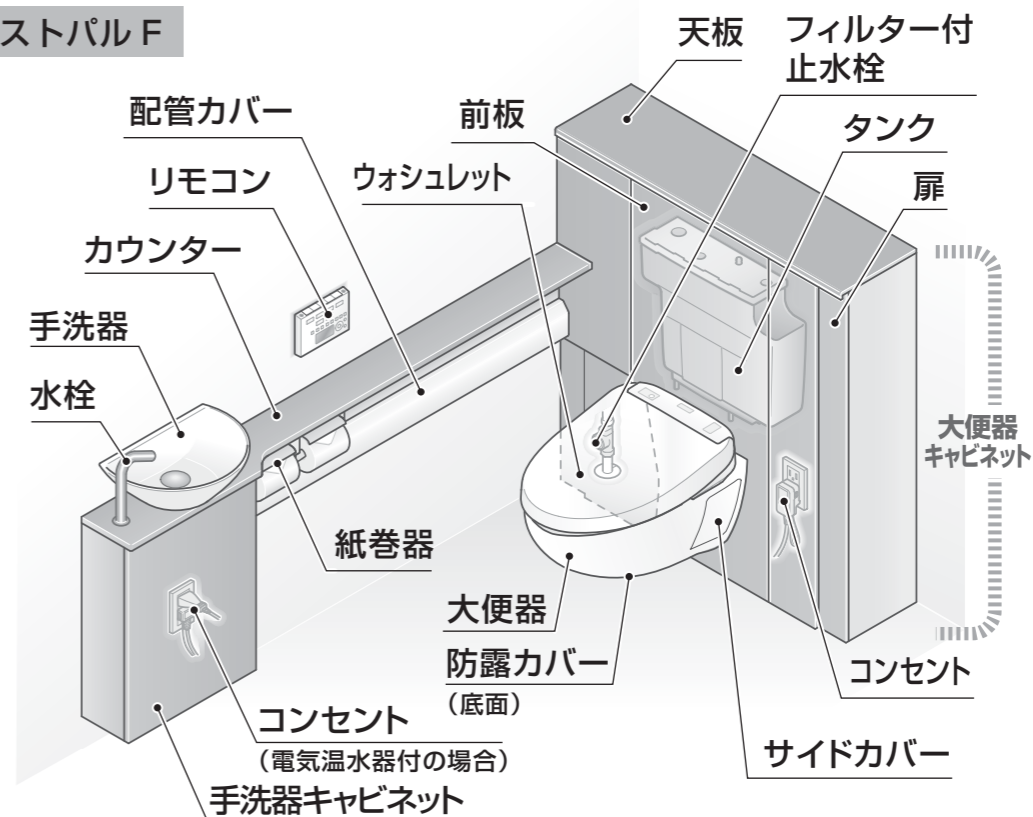
手洗器キャビネット
 コンセント
 (電気温水器付の場合)

手洗器Mサイズ

レストパル

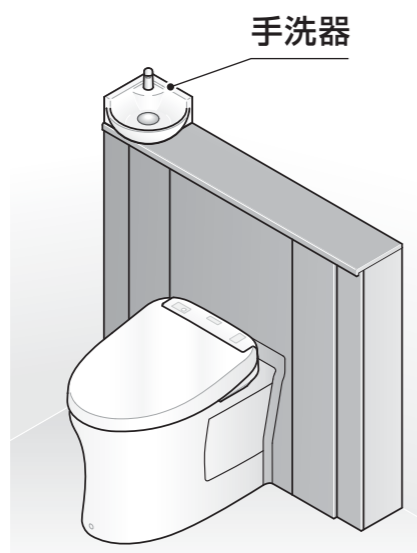


レストパルF

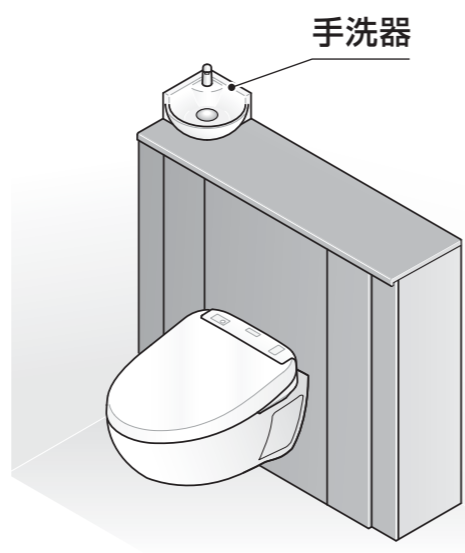


I型

レストパル



レストパルF



※イラストは床排水のタイプです。

※品番により各部仕様は異なります。

タンク

ボールタップ

浮玉の浮力で、自動的に水を止める

オーバーフロー管

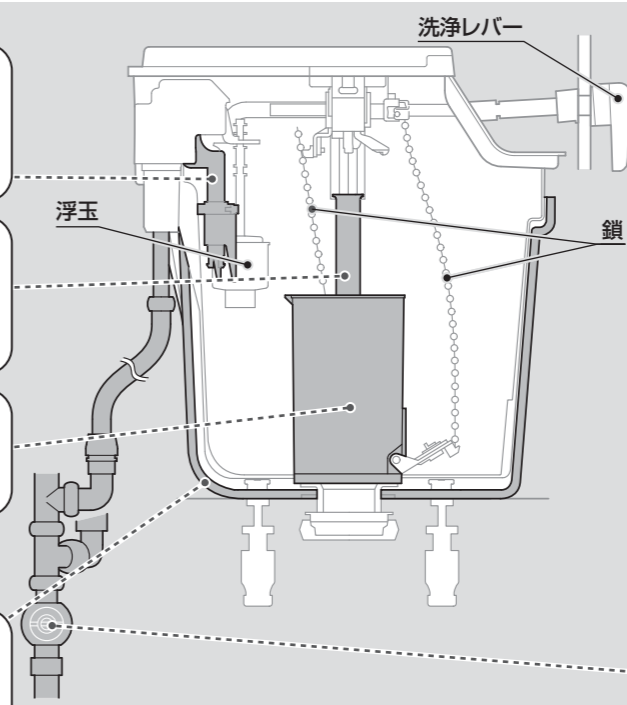
あふれ出す前に、水を便器の方へ流す

排水弁

水を流す・止める弁

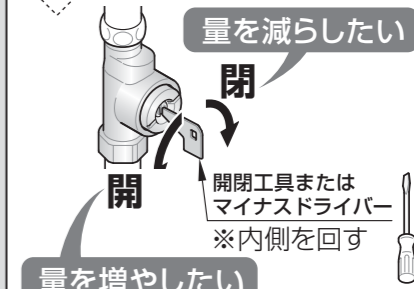
防露層

結露を防ぐ



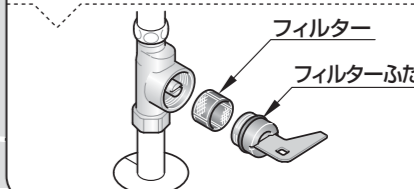
止水栓(フィルター付)

タンクへの流量を調節



フィルター

ごみ・砂などを防ぐ



ご使用前の準備と確認

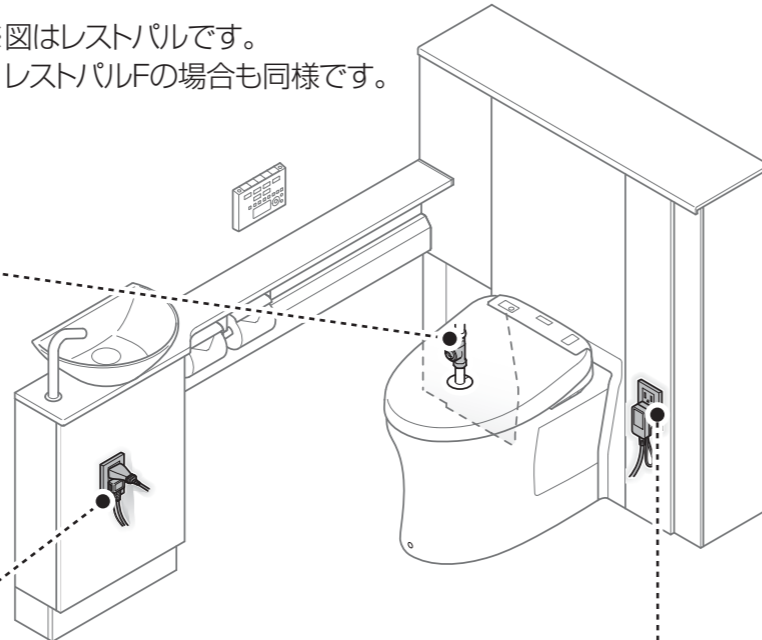
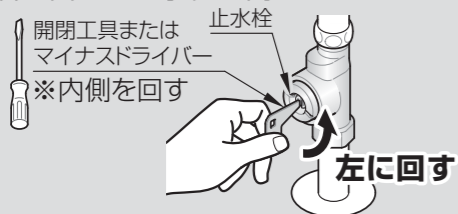
ご使用前に
確認してください!



※図はレストパルです。
レストパルFの場合も同様です。

☑ 止水栓は開いていますか?

- 左に回すと止水栓が開きます。
- 右に回すと止水栓が閉まります。



☑ 電源プラグを差し込んでいますか?

- コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

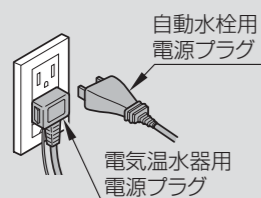
電気温水器付の場合

【電気温水器用電源プラグ】

電気温水器の電源を入れる前に止水栓が開いていることを確認してください。

👉 本ページ上段
空焚きの原因になります。

- 止水栓が開いていることを確認したら電源プラグを差し込み、電源スイッチを「入」にします。

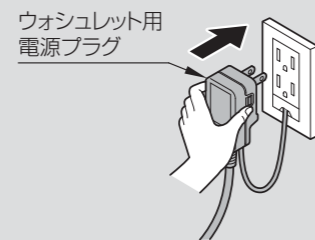


参照 付属の取扱説明書を参照してください。

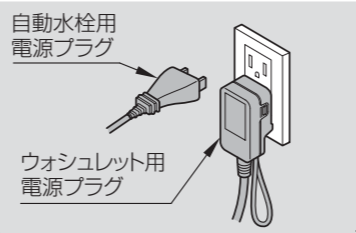
☑ 電源プラグを差し込んでいますか?

- コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

【ウォシュレット用電源プラグ】



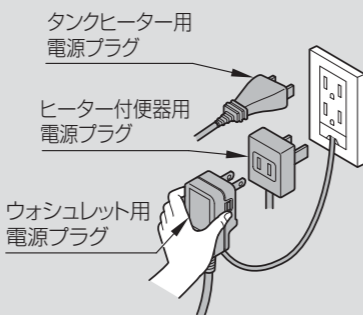
自動水栓の場合



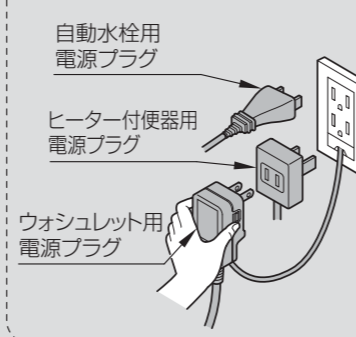
寒冷地用水抜方式の場合

【タンクヒーター用電源プラグ、ヒーター付便器用電源プラグ】

- 凍結が予想される場合は、タンクヒーター用電源プラグまたは、ヒーター付便器用電源プラグをコンセントに差し込みます。



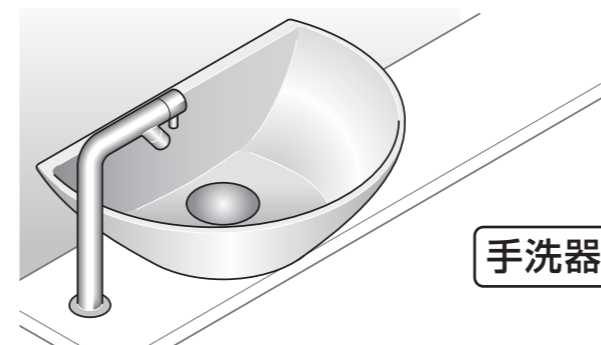
自動水栓の場合



👉 こんなときは P34

※上図はプラグの差し込みかたの一例です。

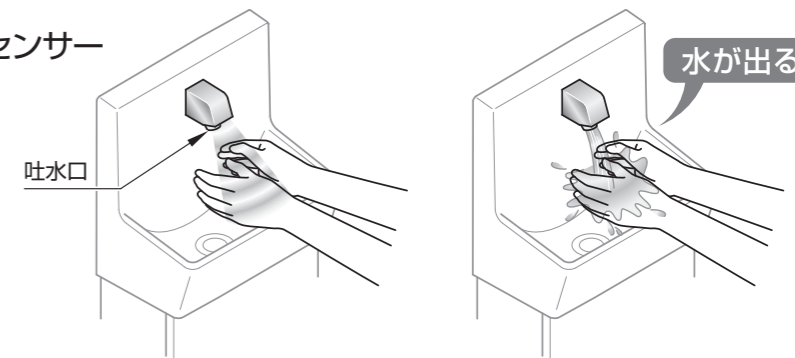
手洗器を使う



手洗器Mサイズ

自動水栓の場合

- 1 吐水口に手を近づけると、センサーが感知し水が出る

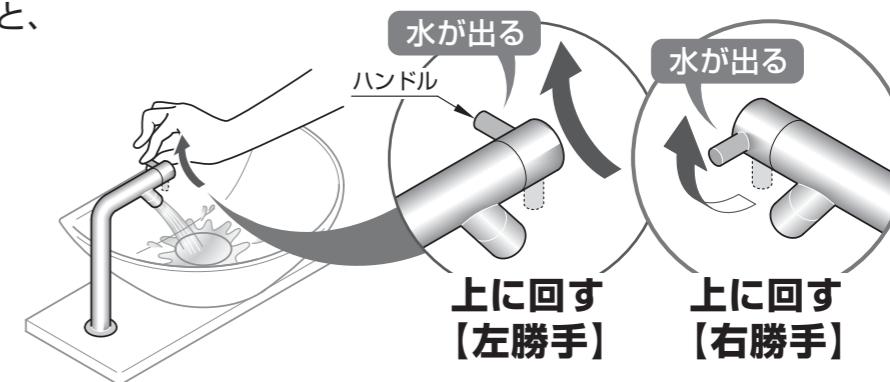


- 2 手を離すと1~2秒後に水が止まる

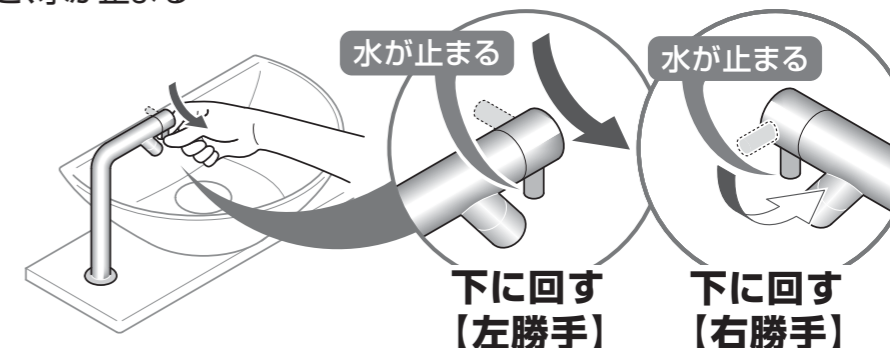
手洗器Sサイズ

ハンドル式水栓 Mサイズの場合

- 1 ハンドルを上に戻すと、水が出る



- 2 ハンドルを下に戻すと、水が止まる



ハンドル式水栓 Sサイズの場合

① ハンドルを上に戻すと、水が出る



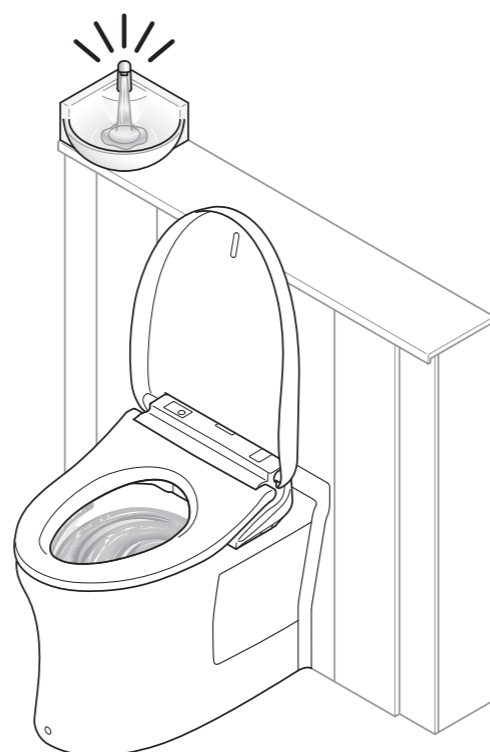
② ハンドルを下に戻すと、水が止まる



I型 手洗器ありの場合

① 便器を洗浄すると、水が出る

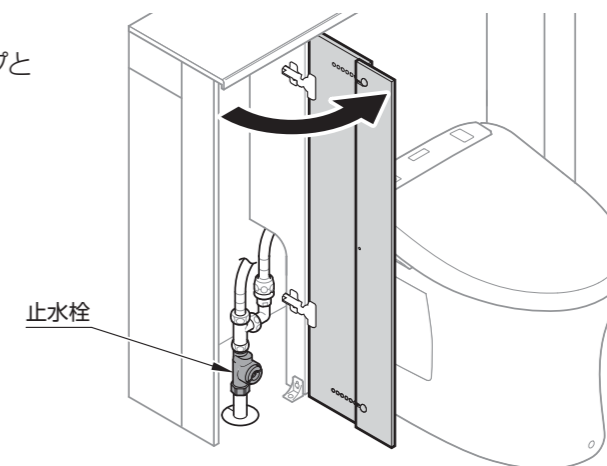
※手洗器水栓側では、操作できません。
※レストパルFは大便器が壁掛タイプとなります。



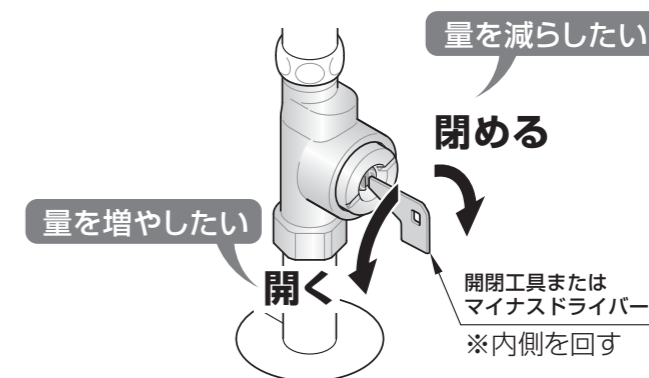
手洗器水栓の水の量を調節する

① 左扉を開ける

※レストパルFは大便器が壁掛タイプとなります。



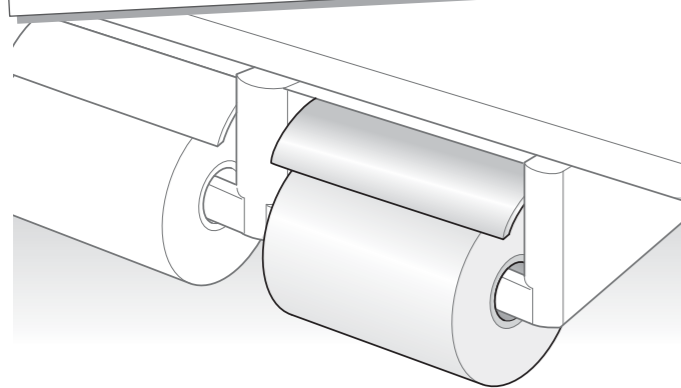
② 止水栓を回す



紙巻器を使う

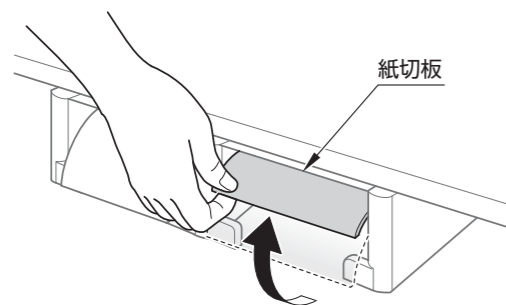
トイレトーパーをセットする

フロントワンタッチ機能

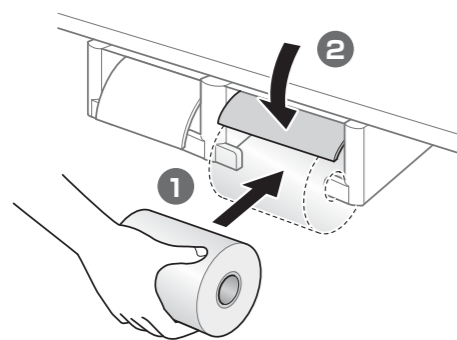


樹脂製の場合

1 紙切板を上げる



2 トイレトーパーをセットし、紙切板を下げる

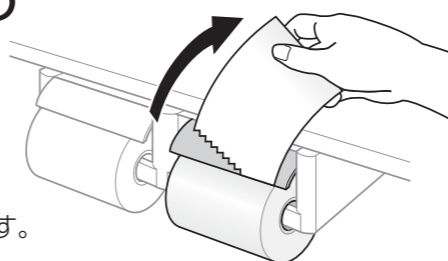


トイレトーパーをカットする

ワンハンドカット機能

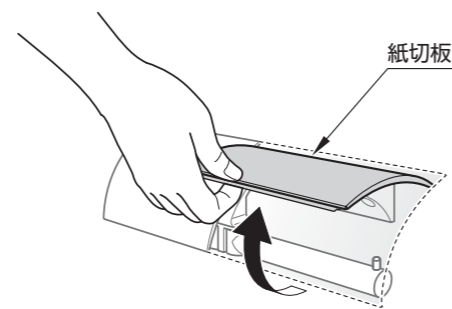
トイレトーパーをつまみ、引き上げる

※トイレトーパーの厚みや切りかたにより、切りにくい場合があります。

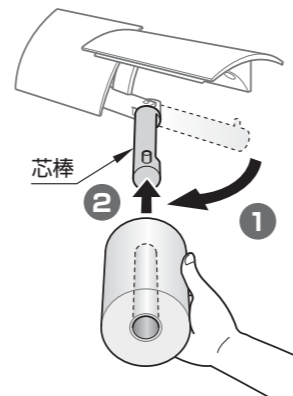


メタル製の場合

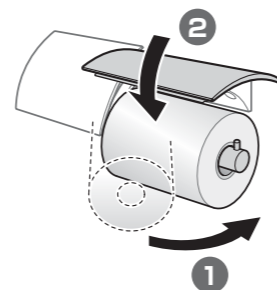
1 紙切板を上げる



2 芯棒を手前に回転し、トイレトーパーを差し込む

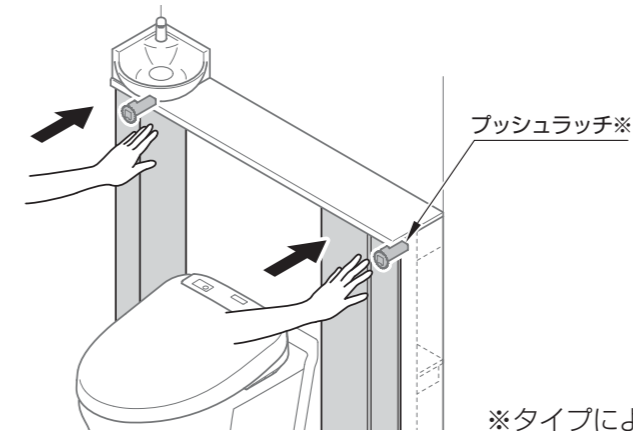


3 芯棒を元の位置に戻し、紙切板を下げる

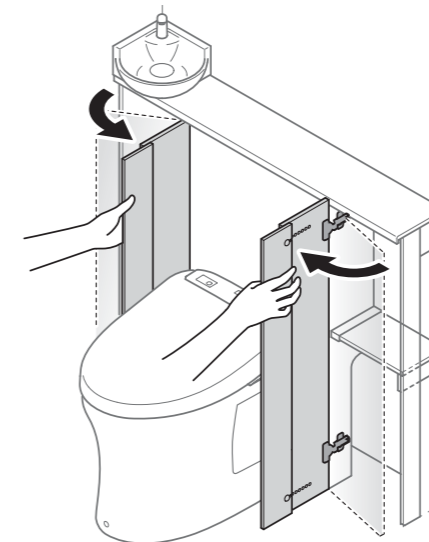


キャビネットの扉を開ける

1 プッシュラッチ付近を軽く押す



2 内側に開く



※タイプにより、位置が異なります。

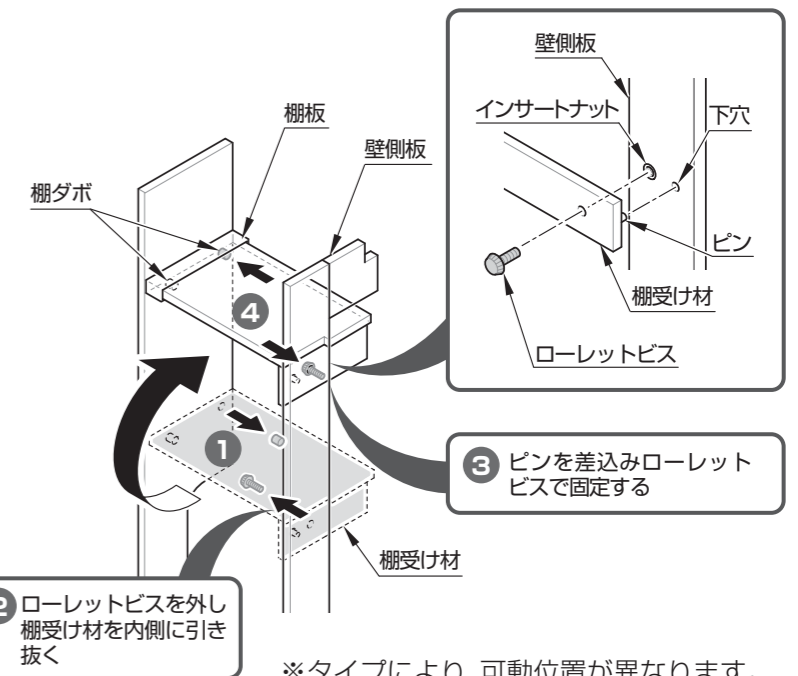
棚板高さを変える

1 棚板を取り出す

2 棚板受け材固定のローレットビスを外し、内側に引き抜いて外す。棚ダボも引き抜いて外す。

3 移動する下穴位置に合わせて棚受け材のピンを下穴に差し込みローレットビスで固定する。あわせて棚ダボも移動する。

4 棚板をのせる。



※タイプにより、可動位置が異なります。

使いかた
紙巻器を使う

使いかた
キャビネットの扉を開ける

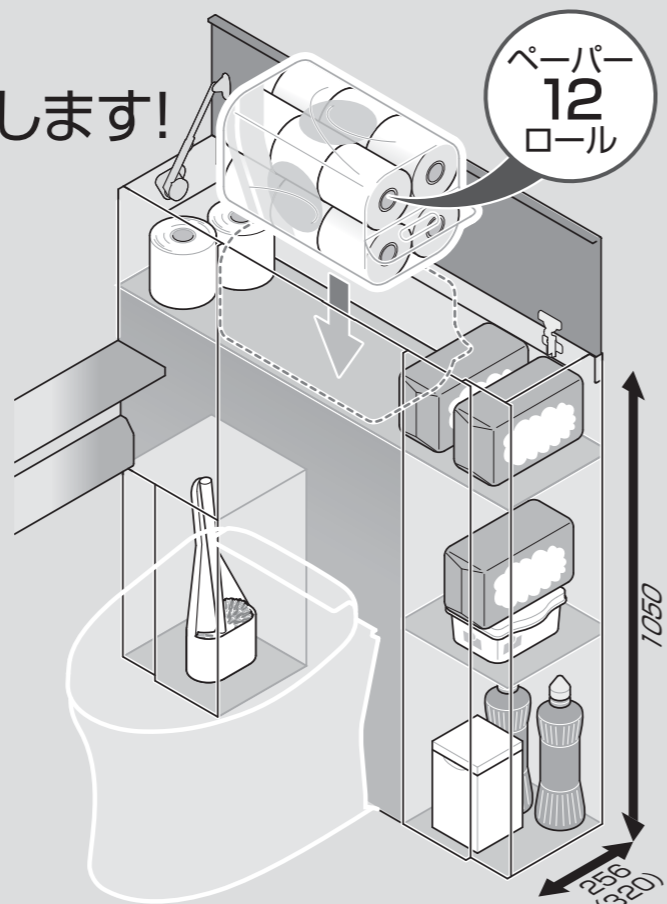
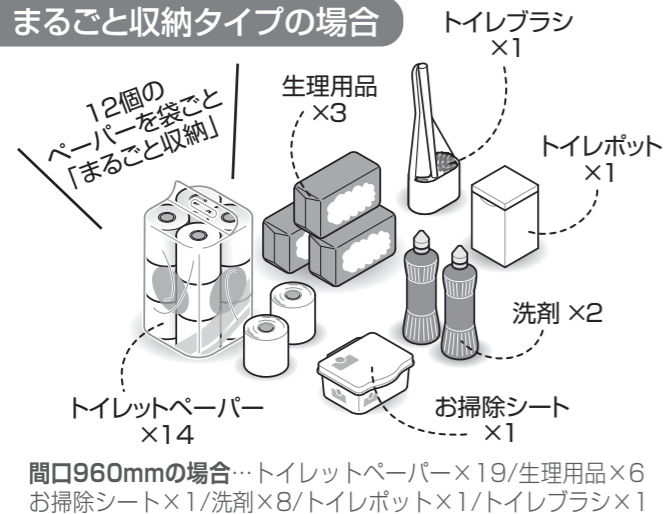
収納術 床排水

それぞれのタイプごとに おすすめの収納術をご紹介します!

※代表して「間口750mmの場合」を紹介しています。
給排水まごと工事・壁給水・手洗器左勝手の場合です。
※レストパルFは大便器が壁掛タイプとなります。
()内はレストパルF(排水心200仕様)の場合

L型/大便器キャビネット

まると収納タイプの場合

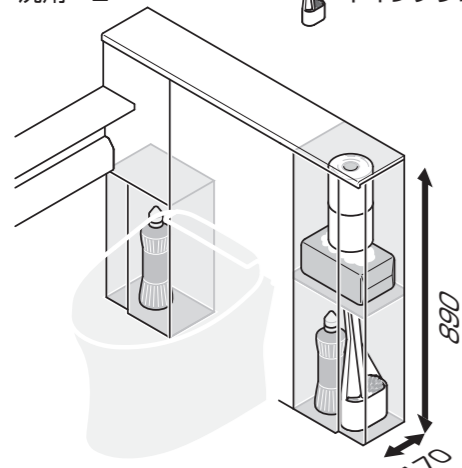


※1間口780mm未満の場合、排水位置の条件により、トイレペーパーが入らない場合があります。
※2間口780mm未満の場合、排水位置の条件により、トイレペーパーの収納が片側の扉のみとなる場合があります。

L型 大便器キャビネット

スリム収納タイプの場合

- ※1 トイレペーパー×2
- 生理用品×1
- 洗剤×2
- トイレブラシ×1

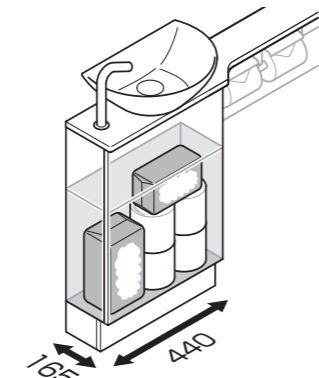


間口960mmの場合…トイレペーパー×4/生理用品×3
お掃除シート×1/洗剤×2/トイレポット×1/トイレブラシ×1

L型 手洗器キャビネット

Mサイズの場合

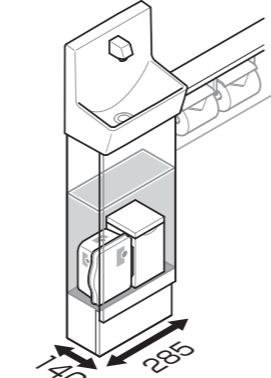
- ※1 トイレペーパー×4
- 生理用品×2
- または
- トイレペーパー×6



電気温水器ありの場合…
トイレペーパー×3

Sサイズの場合

- ※1 お掃除シート×1
- トイレポット×1
- または
- トイレペーパー×4



電気温水器ありの場合…
トイレペーパー×1

※電気温水器なしの場合

※レストパルFの場合はキャビネットが壁掛タイプとなります。

収納量ガイド の設定条件

収納量ガイドは収納物を以下の寸法で設定しております。

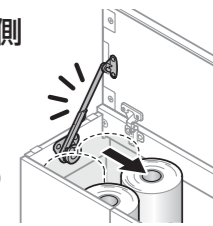
※12個入りトイレペーパー:幅220mm×奥行220mm×高さ345mm※トイレペーパー:外径110mm×高さ116mm※生理用品:幅170mm×奥行80mm×高さ140mm※お掃除シート:幅160mm×奥行126mm×高さ72mm

使用上のご注意

収納物が洗浄レバーに触れないようにする
収納物が洗浄レバーに干渉し、止水不良となるおそれがあります。



まると収納タイプの場合、ダンパー側にぴったり収納物を入れない
天板が閉まらないことがあります。少し中央側へよせてください。



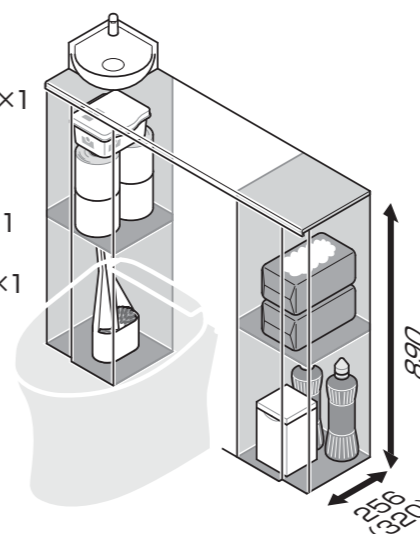
※レストパルFはダンパーの形状が異なります。

I型 大便器キャビネット(手洗器あり)

収納タイプの場合 ()内はレストパルF(排水心200仕様)の場合

- ※2 トイレペーパー×4
- 生理用品×2
- お掃除シート×1
- 洗剤×2
- トイレポット×1
- トイレブラシ×1

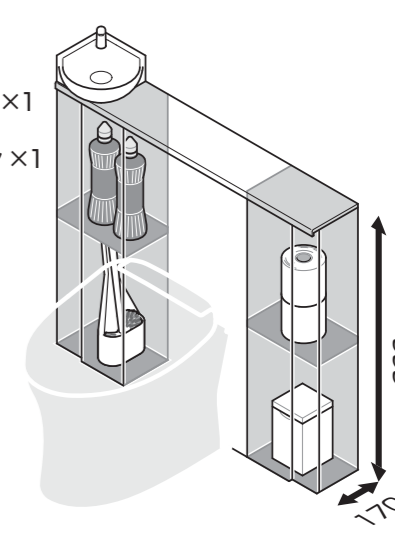
間口960mmの場合…
トイレペーパー×8
生理用品×4
お掃除シート×1
洗剤×8
トイレポット×1
トイレブラシ×1



スリム収納タイプの場合

- ※2 トイレペーパー×2
- 洗剤×2
- トイレポット×1
- トイレブラシ×1

間口960mmの場合…
トイレペーパー×5
生理用品×3
お掃除シート×1
洗剤×2
トイレポット×1
トイレブラシ×1

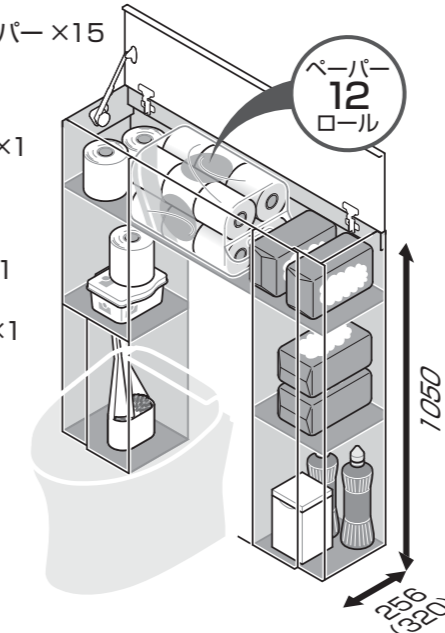


I型 大便器キャビネット(手洗器なし)

まると収納タイプの場合 ()内はレストパルF(排水心200仕様)の場合

- ※2 トイレペーパー×15
- 生理用品×4
- お掃除シート×1
- 洗剤×2
- トイレポット×1
- トイレブラシ×1

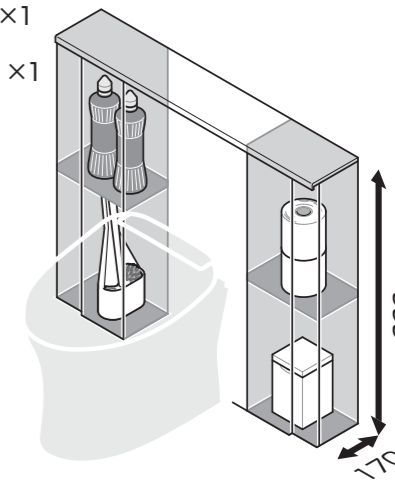
間口960mmの場合…
トイレペーパー×24
生理用品×7
お掃除シート×1
洗剤×8
トイレポット×1
トイレブラシ×1



スリム収納タイプの場合

- ※2 トイレペーパー×2
- 洗剤×2
- トイレポット×1
- トイレブラシ×1

間口960mmの場合…
トイレペーパー×5
生理用品×2
お掃除シート×1
洗剤×2
トイレポット×1
トイレブラシ×1



※洗剤:外径66mm×高さ245mm※トイレポット:幅95mm×奥行100mm×高さ158mm※トイレブラシ:幅110mm×奥行80mm×高さ355※前述の条件以外の場合、収納量が変わる場合があります。

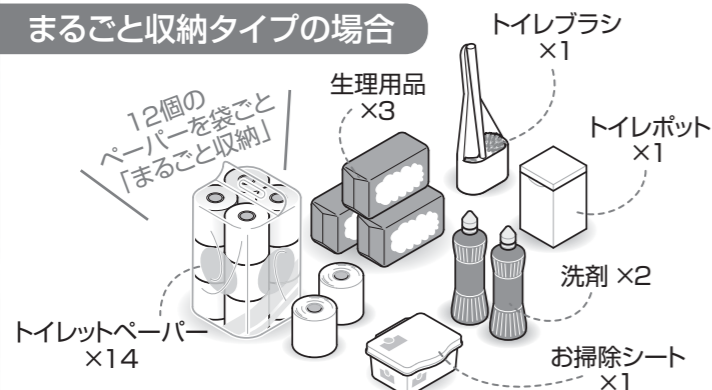
収納術 壁排水

それぞれのタイプごとに おすすめの収納術をご紹介します!

※代表して「間口750mm(後ろ抜き)の場合」を紹介しています。
給排水まるごと工事・壁給水・手洗器左勝手の場合です。

L型/大便器キャビネット

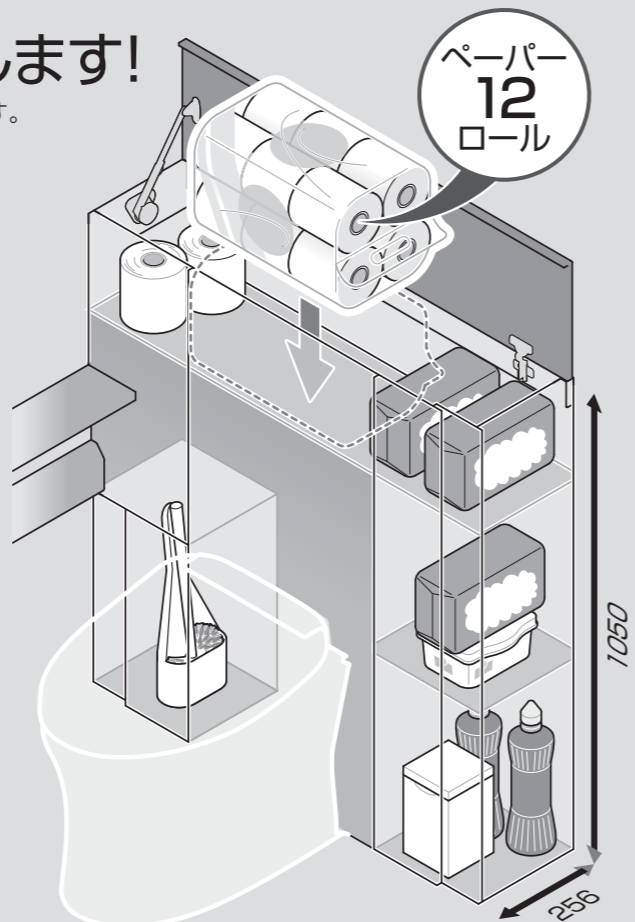
まるごと収納タイプの場合



間口750mm(左右抜き)の場合…トイレットペーパー×13/生理用品×3
お掃除シート×1/洗剤×1/トイレポット×1/トイレブラシ×1

間口960mm(後ろ抜き)の場合…トイレットペーパー×19/生理用品×6
お掃除シート×1/洗剤×8/トイレポット×1/トイレブラシ×1

間口960mm(左右抜き)の場合…トイレットペーパー×19/生理用品×6
お掃除シート×1/洗剤×1/トイレポット×1/トイレブラシ×1



※1間口780mm未満の場合、排水位置の条件により、トイレットペーパーが入らない場合があります。
※2間口780mm未満の場合、排水位置の条件により、トイレットペーパーの収納が片側の扉のみとなる場合があります。

L型 大便器キャビネット

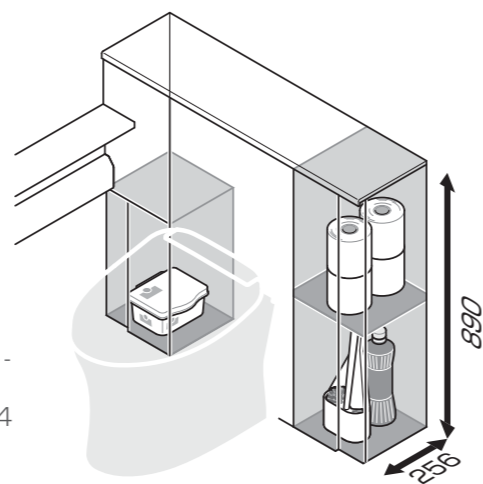
収納タイプの場合

- ※1 トイレットペーパー×4
- お掃除シート×1
- 洗剤×1
- トイレブラシ×1

間口750mm(左右抜き)の場合…
トイレットペーパー×4
トイレポット×1
トイレブラシ×1

間口960mm(後ろ抜き)の場合…
トイレットペーパー×1/生理用品×4
お掃除シート×1/洗剤×8
トイレポット×1/トイレブラシ×1

間口960mm(左右抜き)の場合…
トイレットペーパー×1/生理用品×4
お掃除シート×1/洗剤×1
トイレポット×1/トイレブラシ×1

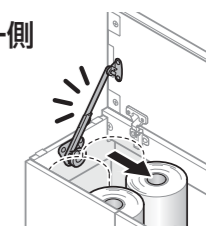


使用上のご注意

収納物が洗浄レバーに触れないようにする
収納物が洗浄レバーに
干渉し、止水不良となる
おそれがあります。



まるごと収納タイプの場合、ダンパー側
にぴったり収納物を入れない
天板が閉まらないことがあります。
少し中央側へよせてください。

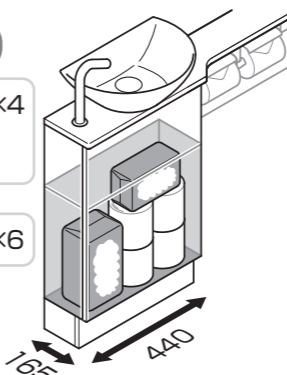


L型 手洗器キャビネット

※電気温水器なしの場合

Mサイズの場合

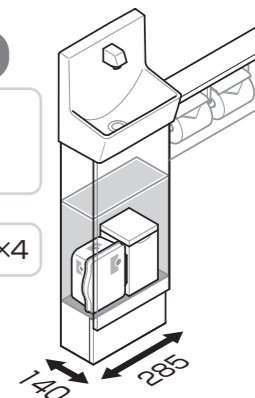
- トイレットペーパー×4
- 生理用品×2
- または
- トイレットペーパー×6



電気温水器ありの場合…
トイレットペーパー×3

Sサイズの場合

- お掃除シート×1
- トイレポット×1
- または
- トイレットペーパー×4



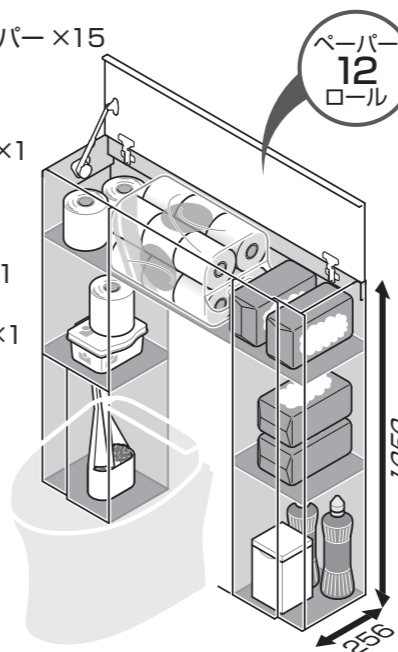
電気温水器ありの場合…
トイレットペーパー×1

I型 大便器キャビネット

まるごと収納タイプの場合

※手洗器なしのみ

- ※2 トイレットペーパー×15
- 生理用品×4
- お掃除シート×1
- 洗剤×2
- トイレポット×1
- トイレブラシ×1



間口750mm(左右抜き)の場合…
トイレットペーパー×15
生理用品×3
お掃除シート×1
洗剤×1
トイレポット×1
トイレブラシ×1

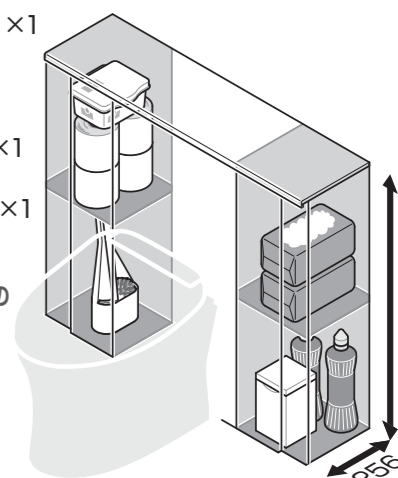
間口960mm(後ろ抜き)の場合…
トイレットペーパー×24
生理用品×7/お掃除シート×1
洗剤×8/トイレポット×1
トイレブラシ×1

間口960mm(左右抜き)の場合…
トイレットペーパー×24
生理用品×7/お掃除シート×1
洗剤×1/トイレポット×1
トイレブラシ×1

収納タイプの場合

※手洗器あり・なし共通

- ※2 トイレットペーパー×4
- 生理用品×2
- お掃除シート×1
- 洗剤×2
- トイレポット×1
- トイレブラシ×1



間口750mm(左右抜き)の場合…
トイレットペーパー×4
生理用品×1
お掃除シート×1
洗剤×1
トイレポット×1
トイレブラシ×1

間口960mm(後ろ抜き)の場合…
トイレットペーパー×8
生理用品×4/お掃除シート×1
洗剤×8/トイレポット×1
トイレブラシ×1

間口960mm(左右抜き)の場合…
トイレットペーパー×9
生理用品×4/お掃除シート×1
洗剤×1/トイレポット×1
トイレブラシ×1

収納量ガイド の設定条件

収納量ガイドは収納物を以下の寸法で設定しております。

※12個入りトイレットペーパー:幅220mm×奥行220mm×高さ345mm※トイレットペーパー:外径110mm×高さ116mm※生理用品:幅170mm×奥行80mm×高さ140mm※お掃除シート:幅160mm×奥行126mm×高さ72mm

※洗剤:外径66mm×高さ245mm※トイレポット:幅95mm×奥行100mm×高さ158mm※トイレブラシ:幅110mm×奥行80mm×高さ355※前述の条件以外の場合、収納量が変わる場合があります。

使いかた
収納術 壁排水

使いかた
収納術 壁排水

お手入れの前に

キャビネット・カウンター・手洗器

お手入れの前に確認してください



お掃除をラクにするコツ

便器や便座の汚れ、結露や床にこぼれた小水などは、気が付いたらサッとふき取る習慣をつけましょう。家族の協力も得て、気が付いた人がその場でお掃除をすることがポイントです。

ピカピカのトイレで、イメージアップ

便器や便座をピカピカにしておくと、それだけで印象がワンランクアップします。掃除効果も高まります。

point!

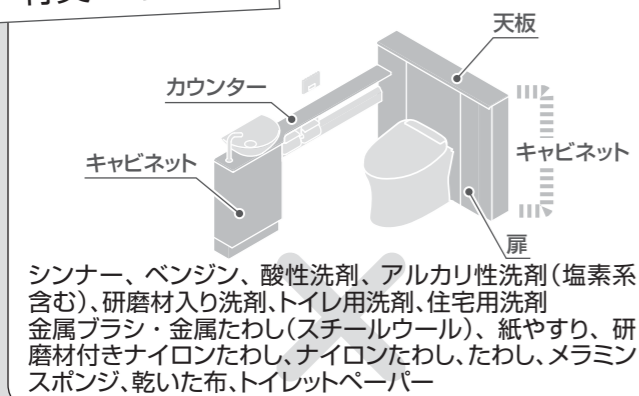


日常のお手入れに

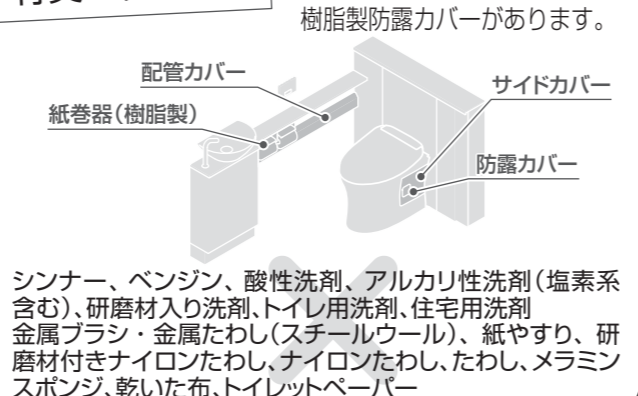


下記の洗剤・道具は、使用しないでください

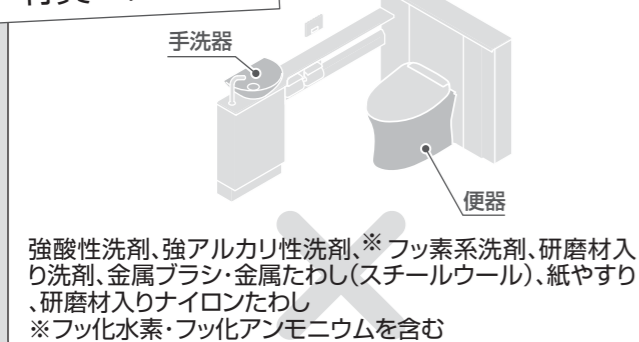
材質：木質



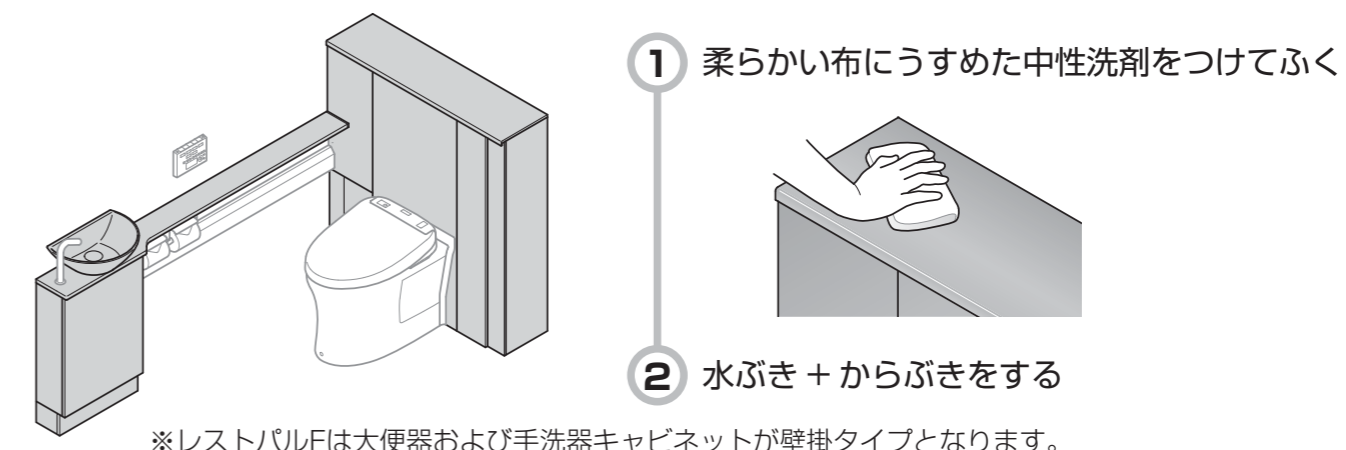
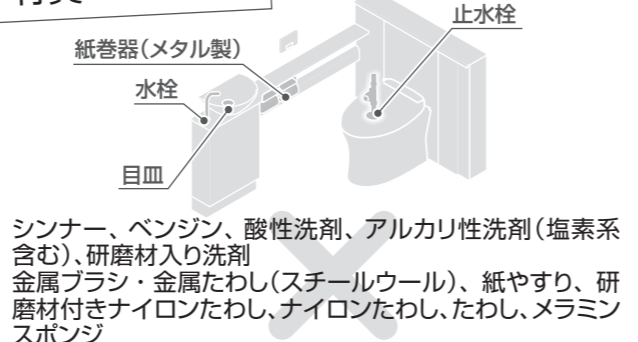
材質：樹脂



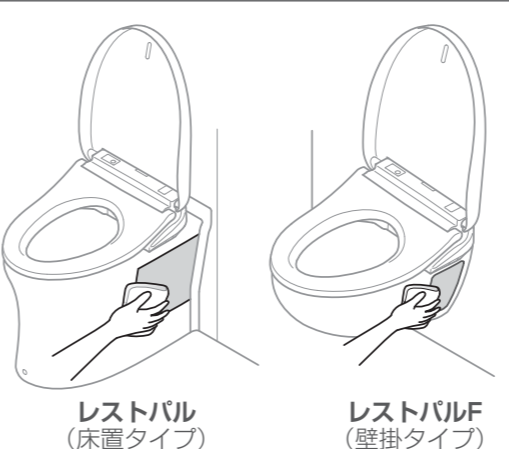
材質：陶器



材質：金属



サイドカバー



柔らかい布で水ぶきをする

洗剤を使用する場合、うすめた台所用洗剤(中性)を使用してください。洗剤使用後は水ぶきをしてください。

使用上のご注意

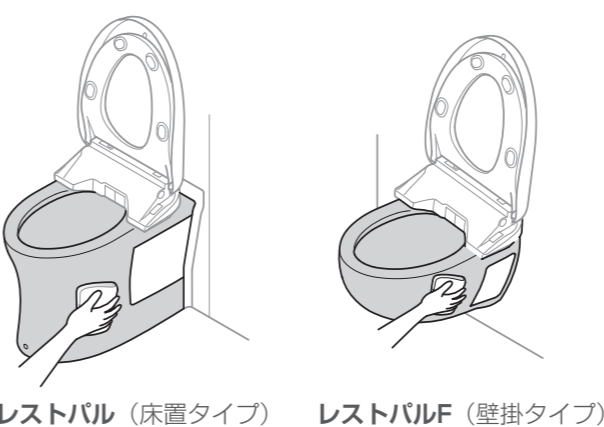
ウォシュレット本体・便座・便ふたなどのプラスチック部分は乾いた布やトイレトーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。水でぬらした柔らかい布をよくしぼってふいてください。

大便器

使用上のご注意

便器用洗剤がキャビネット・カウンター・手洗器・ウォシュレット・サイドカバーに付着しないようご注意ください。付着した場合は、柔らかい布で水ぶきしてください。(割れや変色の原因となることがあります。)

便器外面



柔らかい布で水ぶきをする

洗剤を使用する場合、うすめた台所用洗剤(中性)を使用してください。洗剤使用後は水ぶきをしてください。

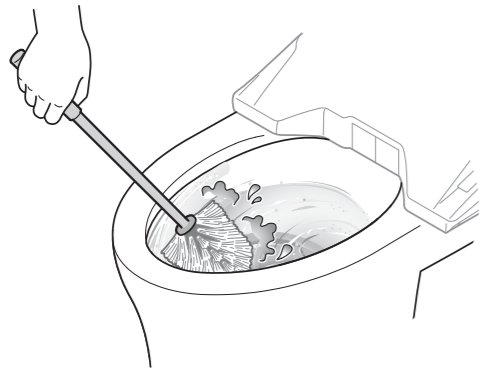
お手入れ
お手入れの前に

お手入れ
キャビネット・カウンター・手洗器
サイドカバー / 大便器

便器内面

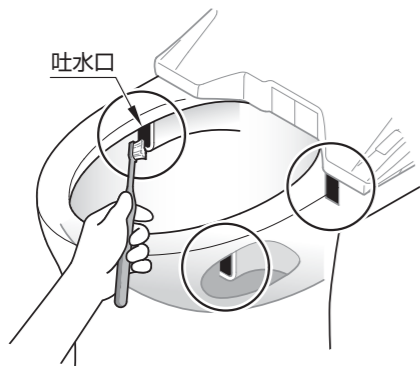
軽い汚れ

掃除用ブラシやスポンジで水洗いする



吐水口まわりの汚れ

使い古しの歯ブラシなどで掃除する



水あかなどのしつこい汚れ

- 1 汚れた部分の水分をふき取る
- 2 トイレ用洗剤を汚れに直接かける
- 3 掃除用ブラシやスポンジでこすり洗うする
※取れにくい場合は割りばしなどを使ってこすり落としてください。
- 4 水洗いする

使用上のご注意

便座・便ふたは開けたままにする

洗剤によっては揮発ガスが発生するものがあります。②～④の項目は早め(3分以内)に行うとともに、便座・便ふたは開けたままにしてください。揮発ガスが温水洗浄便座などの内部に入り、故障の原因になります。

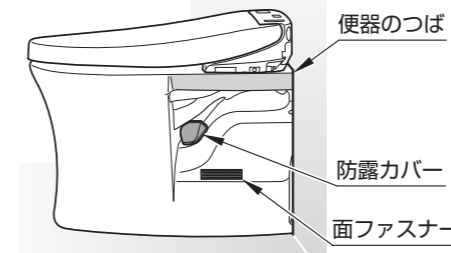


サイドカバーの取り外し、取り付け

レストパル床排水

取り付け

- 1 サイドカバーを差し込む
便器上面にフックが当たるまで垂直に差し込む
フックが外れたとき P26
- 2 サイドカバーを便器側面にあわせる
- 3 面ファスナー部をしっかりと押さえる
※面ファスナー部をしっかりと押さえてサイドカバーが外れないことを確認してください。
- 4 はかま目地材の切り欠きにホース・電源コードを通し(P.33 参照)、はかま目地材を下記の順で前板に挟み込む
① 上部 ② 縦部
はかま目地材Lを先に取り付ける



注意

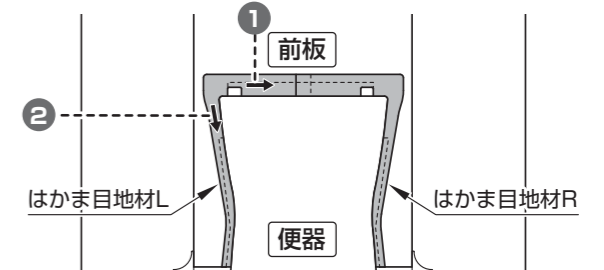
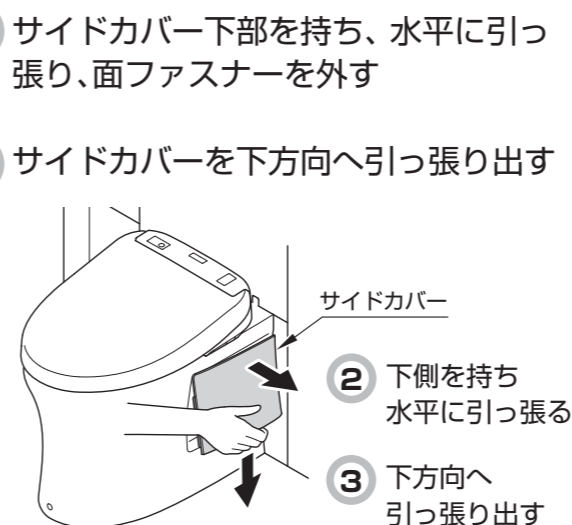
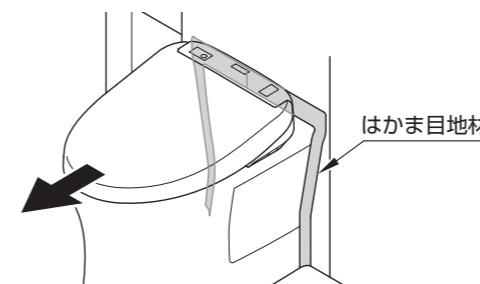
防露カバーを取り外さない
再度取り付けることができません。
※取り外すと結露水が床をぬらすおそれがあります。



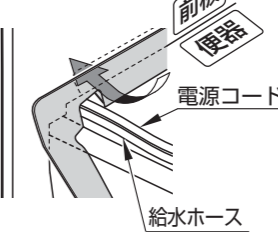
お手入れの際は、防露カバーは柔らかい布で拭く

取り外し

- 1 ウォシュレットを前にずらし、はかま目地材を外す
※外しづらい場合は、②③のサイドカバーを先に外してください。
- 2 サイドカバー下部を持ち、水平に引っ張り、面ファスナーを外す
- 3 サイドカバーを下方向へ引っ張り出す



- 1 便器上面部分から前板に嵌める



※図はコンセントが左側の場合(P.33 参照)

洗剤について

市販の家庭用洗剤であれば、酸性・中性・アルカリ性を問わずご使用になれます。ただし、研磨剤入りの洗剤や業務用の強酸性・強アルカリ性洗剤には、陶器表面を傷つけたり、侵したりするものがありますので使用しないでください。

表面コート剤や芳香洗浄剤について

撥水性や防汚性のある洗剤・表面コート剤・芳香洗浄剤などは使用しないでください。陶器表面を傷めることはありませんが、洗剤やコート剤の成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚効果が十分発揮できなくなります。

※セフィオンテクト:汚れが付きにくく落としやすい特殊加工。

セフィオンテクト*の表面を洗剤やコート剤の成分が覆ってしまう。



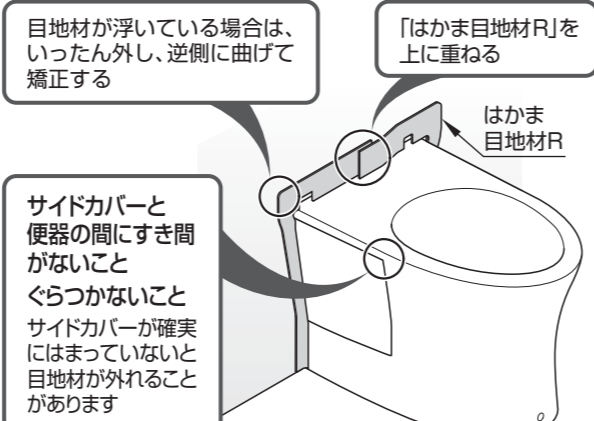
point!



- 2 サイドカバーがずれないように押えながら、はかま目地材を少しひねり上から順に押し込む



- 5 同じ要領で「はかま目地材 R」を前板に挟み込む



サイドカバーと便器の間にすき間がないこと
ぐらつかないこと
サイドカバーが確実にハマっていないと目地材が外れることがあります

仕上がりは浮き・すき間がないこと

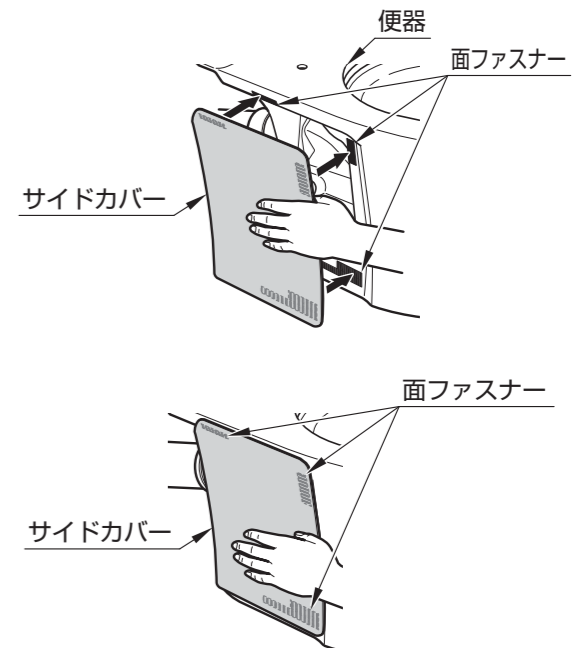
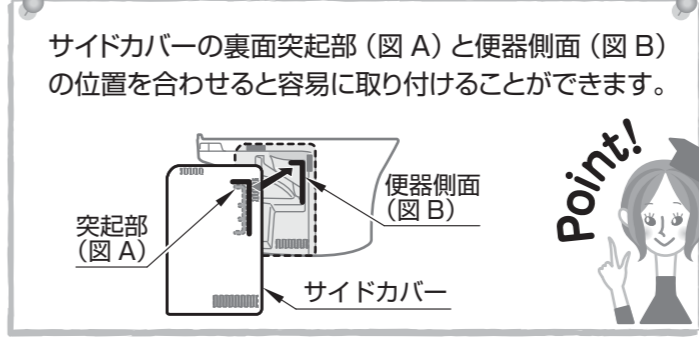
フックが外れたとき

フックを持ち上げ、上スナップを軽く押しながら「カチッ」と音がするまで差し込む
※もう一度、フックの左右、上面がサイドカバーに確実に差し込まれていることを確認してください。



取り付け

- 1 サイドカバーの面ファスナーと便器の面ファスナーの位置を合わせて取り付ける
- 2 面ファスナー部(3カ所)をしっかりと押さえてサイドカバーが外れないことを確認する

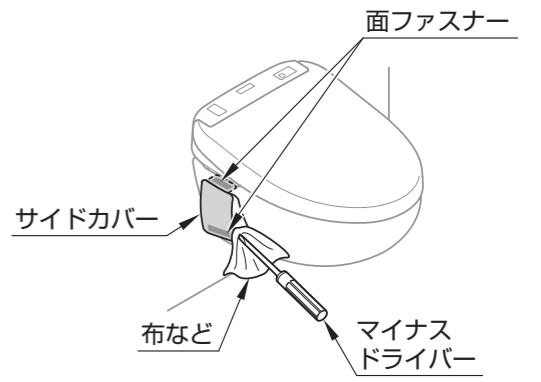


サイドカバーの取り外し、取り付け レストパルF

取り外し

- 1 サイドカバーの下方コーナー部と陶器のすき間に、ドライバーのような先の細い治具を差し込む
- 2 サイドカバーを浮かせるようにしながら取り外す

※便器・サイドカバーに傷がつかないように治具の先を布などで覆うことをおすすめします。

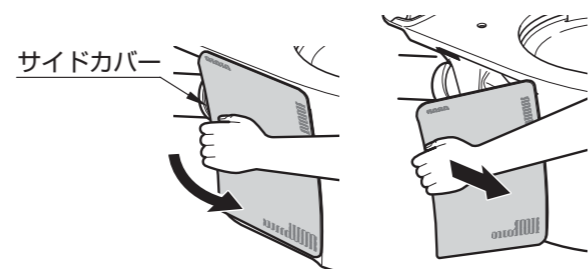


注意
禁止 サイドカバー下方部の直線面に治具を挿入しない
面ファスナーを破損するおそれがあります。

サイドカバーの取り外し、取り付け レストパル壁排水

取り外し

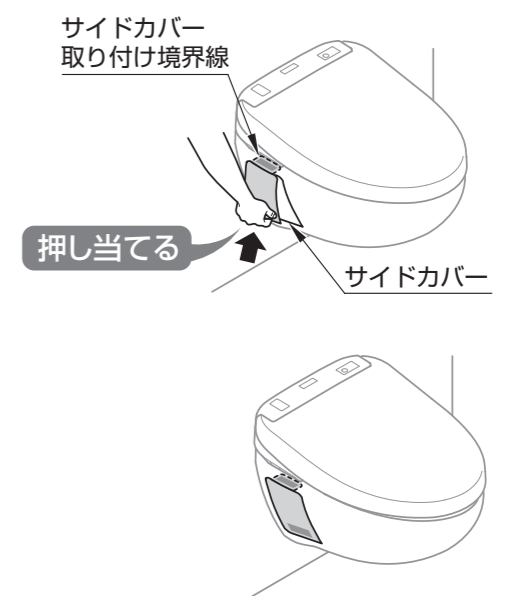
- サイドカバーの後方を手前方向に引っ張り外す



取り付け

- 1 サイドカバー上方面ファスナーを陶器側上方面ファスナーに押し当てる
- 2 その状態のまま、サイドカバー下方を陶器側下方面ファスナーに向けて押し当てる

※前後方向のすき間が、均一となるように取り付けると見栄えがよくなります。



お手入れ

大便器

お手入れ

フィルター
大便器

フィルターが詰まると、タンクへ水を溜める時間が長くなったり、手洗器の吐水量が少なくなったりします。
その際は、フィルターの掃除を行ってください。

point!



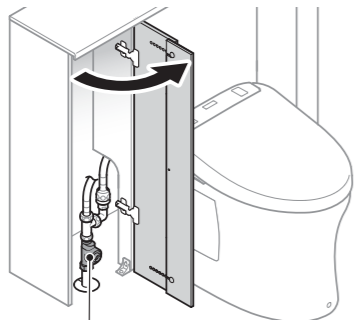
「TOTO蛇口まわりのクリーナー」でお手入れ

水栓の表面に付着した水あかなどの汚れ落としには、傷をつけずに汚れを効果的に除去できる水栓金具用蛇口まわりのクリーナーのご使用をおすすめします。 お手入れの前に P22

point!

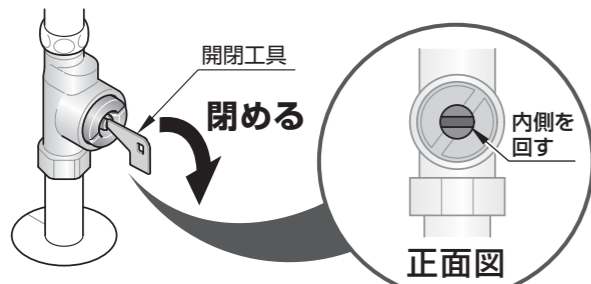


- 1 止水栓のある側のキャビネットの扉を開く

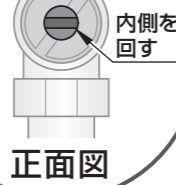


図は左下に止水栓がある場合

- 2 止水栓を付属の開閉工具またはマイナスドライバーで止まるまで閉める

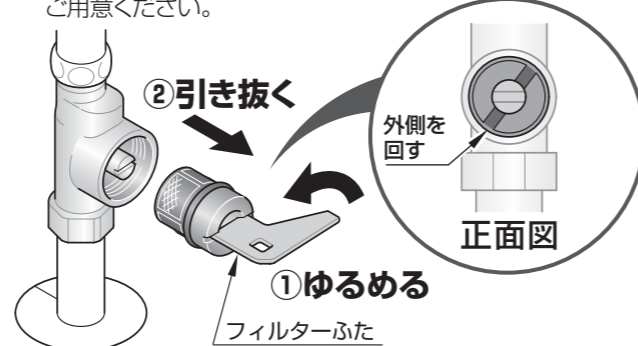


開閉工具
閉める



内側を
回す
正面図

- 3 フィルターふたを付属の開閉工具で外す
※少量の水がこぼれる場合がありますので、ぞうきんなどをご用意ください。



②引き抜く

外側を
回す

正面図

①ゆるめる
フィルターふた

- 4 フィルターをブラシなどで掃除する



フィルター

- 5 フィルターをもとの位置に戻し、ふたを取り付ける

- 6 適当な吐水量に止水栓を回し調整する

手洗器水栓の水の量を調節する P15

- 7 扉を閉める

注意

! フィルターをお手入れなどで外すときは必ず止水栓を閉めてから行う
必ず実行 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

目皿・排水口まわり

L型 Mサイズの手洗器には、目皿があります。

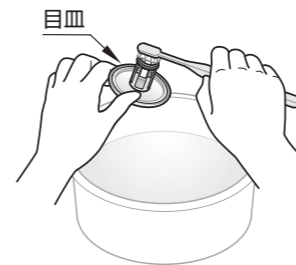
- 1 目皿をつかみ、上に引き抜く
※固い場合は、強く引っ張ってください。



引き抜く

目皿

- 2 目皿のゴミをブラシなどで取り除く



目皿

- 3 目皿・排水口まわりをやわらかい布でふきとる

汚れ(カビ・水アカなど)がいったん付着すると、落としにくいので、日頃からこまめにお手入れしてください。



- 4 掃除が終わったら目皿をもとに戻し、上からしっかりと押さえる

※目皿を落として手洗器を傷つけないよう、ご注意ください。

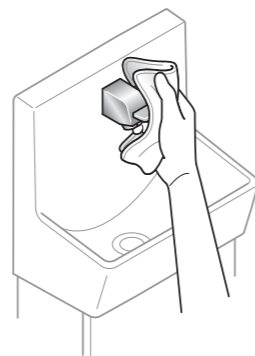
水栓

軽い汚れ

柔らかい布で水ぶきをする

ひどい汚れ

布にうすめた中性洗剤をつけてふいた後、水ぶきをする



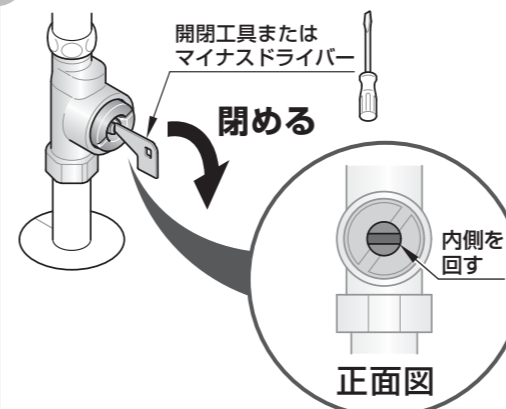
使用上のご注意

水栓の表面を傷つけるものは使用しないでください。

お手入れの前に P22

センサー部(自動水栓の場合)

- 1 止水栓を止まるまで閉める



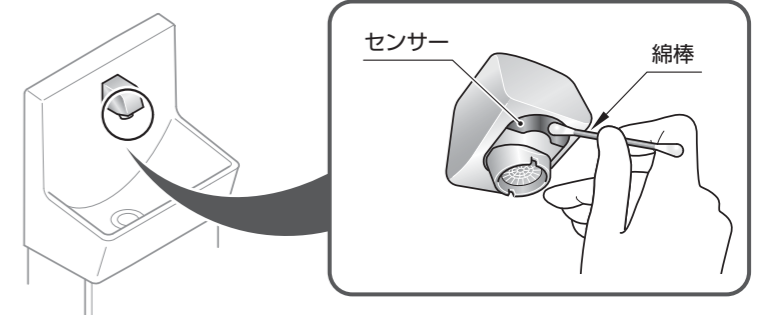
開閉工具または
マイナスドライバー
閉める

内側を
回す

正面図

Sサイズの場合

お手入れの際は、センサー面を傷つけないようご注意ください。



センサー

綿棒

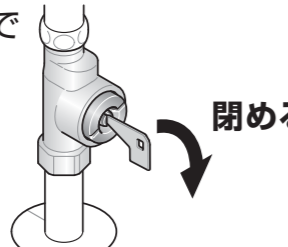
- 2 綿棒で水ぶきをする

洗剤を使用する場合、うすめた台所用洗剤(中性)を使用してください。洗剤使用後は水ぶきをしてください。

ハイパー泡まつキャップ

手洗器Sサイズの場合

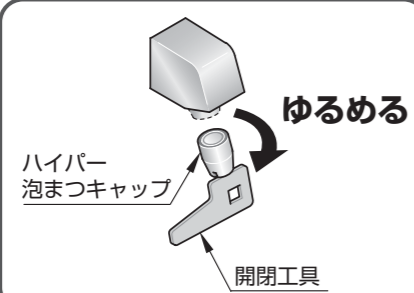
1 止水栓を止まるまで閉める



閉める

2 ハイパー泡まつキャップを付属の開閉工具で外す

泡まつキャップを外す際に、開閉工具にてセンサー面を傷つけないようにご注意ください。



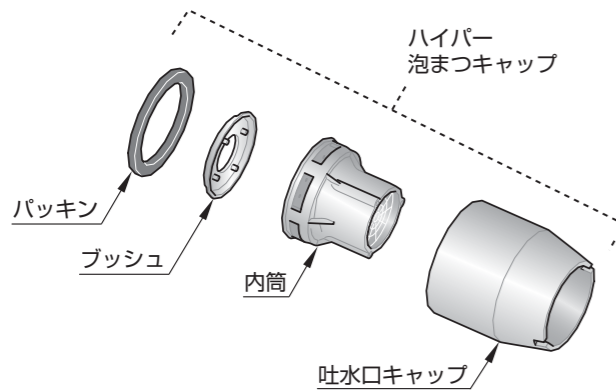
ゆるめる

ハイパー泡まつキャップ

開閉工具

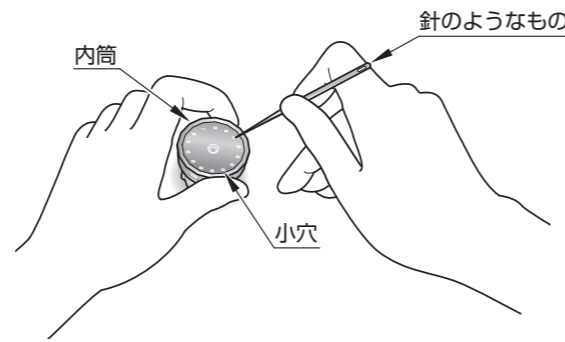
3 パッキンを先端の細い針金などで取り外す

4 ブッシュ(白色)を取り外し、内筒を取り出す



5 内筒の小穴にごみなどがいないか確認する

6 ごみなどが小穴をふさいでいる場合は、針のような先端の尖ったもので取り除く



7 吐水口キャップに内筒・ブッシュ・パッキンの順に入れ、取り付ける

泡まつキャップは手で締め付け、固くなった位置から約90°開閉工具で締め付けてください。

注意

パッキンは必ず吐水口キャップ内の溝に挿入する

必ず実行 水漏れし、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

手洗器排水トラップ

手洗器の水はけが悪くなった

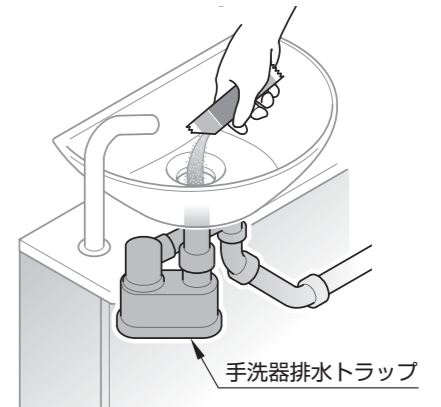
市販の弱アルカリ性「排水パイプ用洗剤」(粉末タイプ)を使用し、排水トラップを洗浄する

注意



アルカリ性の排水パイプ用洗剤(液体タイプ)は使用しない

手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



電源プラグ

1 電源プラグを抜く

2 掃除をする

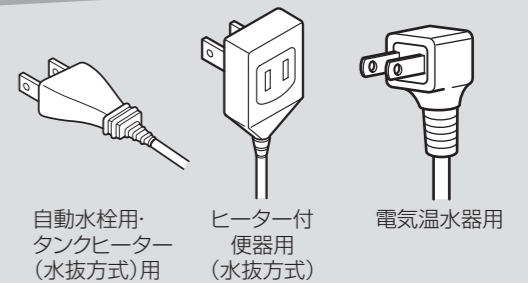
- 電源プラグの刃などについたほこりを乾いた布で取り除いてください。



3 電源プラグを差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。

電源プラグの種類



注意

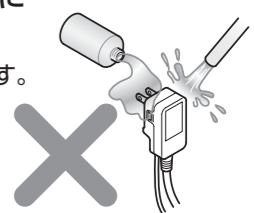
お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く感電の原因になります。

必ず実行

コンセント・電源プラグに付いたほこりなどは取り除き、根元まで確実に差し込む火災や感電の原因になります。



コンセント・電源プラグに水・洗剤をかけない火災や感電の原因になります。



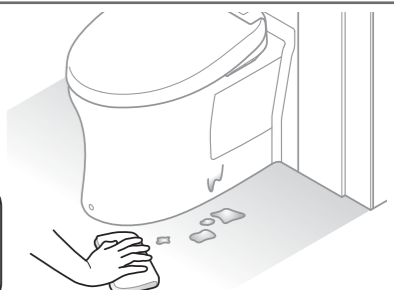
床

- 便器から飛び出した小便や器具についた露が床に落ちたときは、よく絞ったぞうきんでふき取ってください。
- お手入れの際、床に落ちた洗剤や水もよく絞ったぞうきんでふき取ってください。

注意



床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取る
必ず実行 放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。



大便器とウォシュレットのすき間

大便器とウォシュレットのすき間

ウォシュレットの取り外し

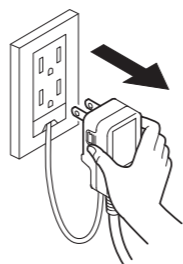
※図はレストパルです。レストパルFの場合も同様です。

1 電源プラグを抜く

※ウォシュレット本体を取り外す前に安全のためコンセントから電源プラグを抜いてください。また、抜いた電源プラグに水がかからないようにしてください。

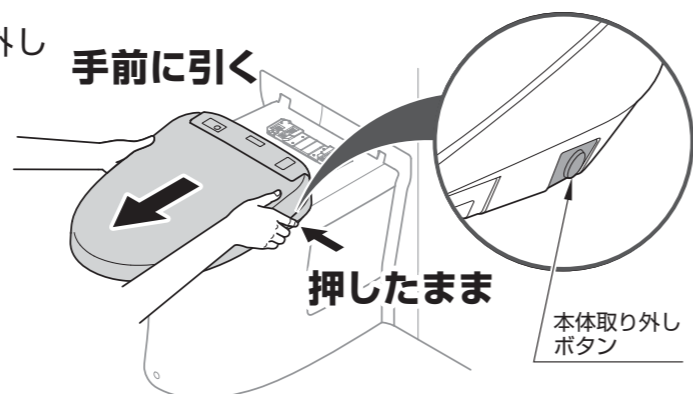
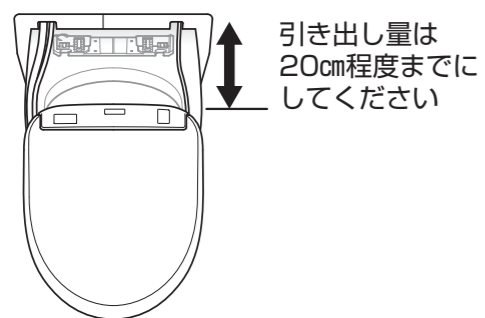
※コンセントはキャビネット内にあります。

はじめに P12



2 ウォシュレット本体右側の本体取り外しボタンを押したまま、本体を手前に引く

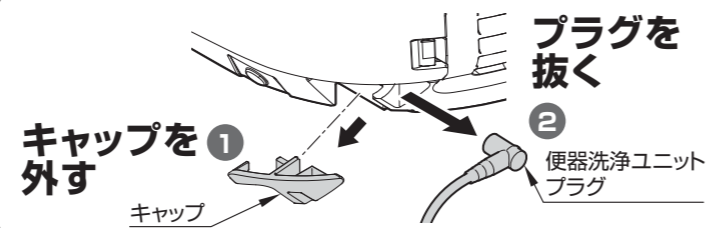
※給水ホース・電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。



3 掃除をする

お手入れの前に P22

便器洗浄ユニットプラグを抜く場合



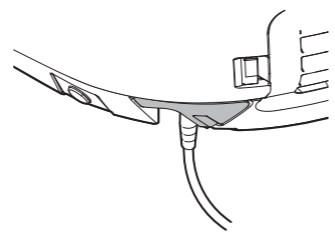
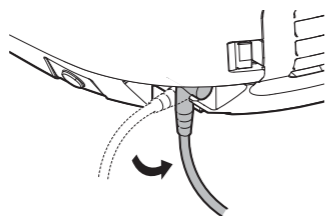
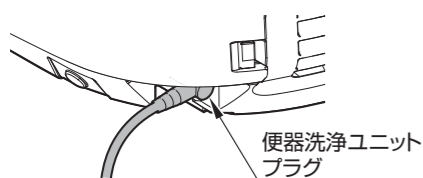
ウォシュレットの取り付け

※図はレストパルです。レストパルFの場合も同様です。

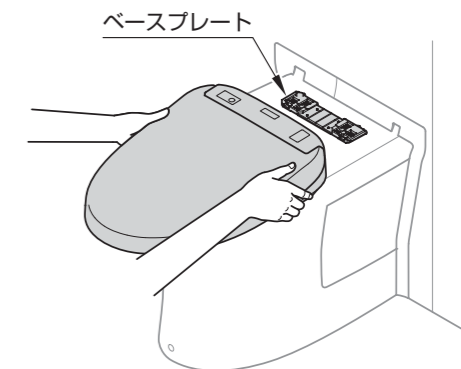
便器洗浄ユニットプラグを抜いた場合

次の手順で差し込んでください。

- 1 便器洗浄ユニットプラグを横向きに根元まで確実に差し込む
- 2 便器洗浄ユニットプラグを下向きに回す
- 3 キャップを取り付ける



1 ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる

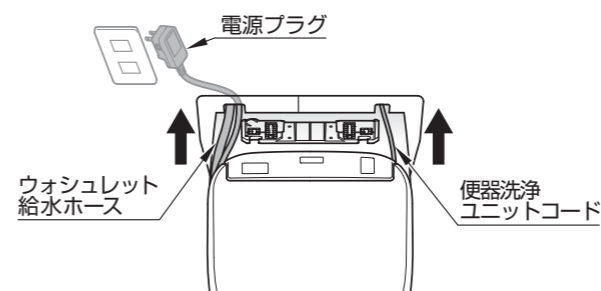


2 コードやホースをキャビネットの中に収める

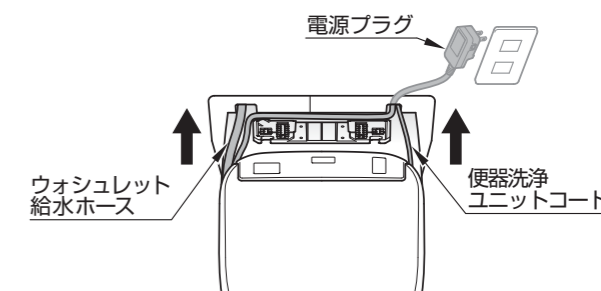
• 前板切欠き部よりコードを押し込んで収める。

レストパル(床排水)

コンセントが左にある場合



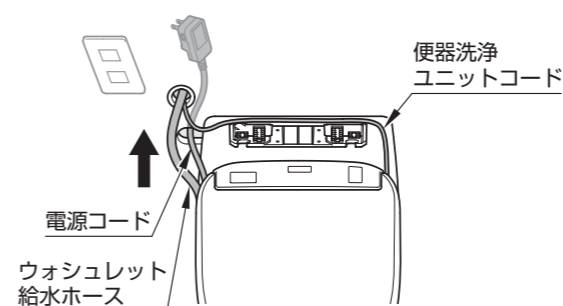
コンセントが右にある場合



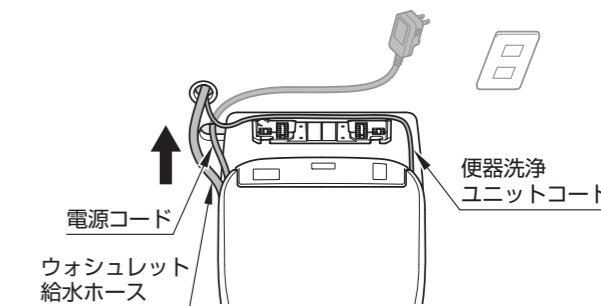
レストパル(壁排水)

レストパルF

コンセントが左にある場合



コンセントが右にある場合



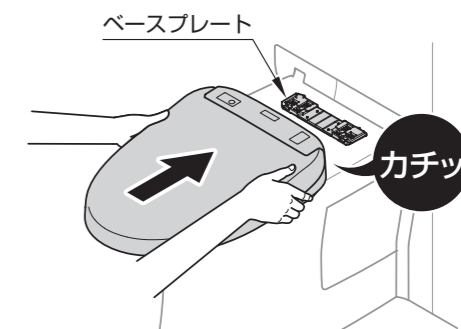
3 便器洗浄ユニットプラグが奥まで差し込まれていることを確認する

※正しく差し込まれていないと、オート便器洗浄しません。

4 便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

5 電源プラグを差し込む



ウォシュレット本体を軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

冬場の凍結を防ぐ

冬場の凍結を防ぐ

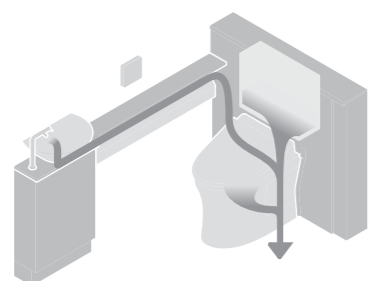
凍結予防には2通りの方法があります。
凍結が予想される時は、以下の処置を行きましょう！



- 商品が凍結すると機器が破損し水漏れの原因となります。
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が凍結予防限界温度以下にならないようにしてください。

水抜方式

器具および配管中の水を抜いて凍結を予防します。

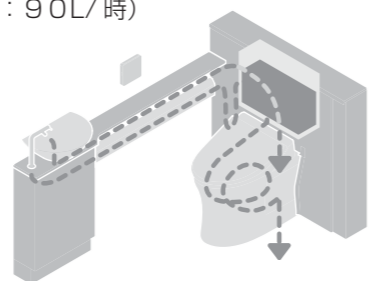


凍結予防限界温度

大便器・タンク (室内暖房用)	0℃
(ヒーター付便器併用)	-15℃
ウォシュレット部	0℃
手洗器部	0℃

流動方式

少量の水を流し続けて凍結を予防します。
水は動いていると0℃以下でも凍りにくい性質があります。
※タンクの流動レバーを開けた場合、水が流れ続けますので、水道代が加算されます。
(目安：90L/時)

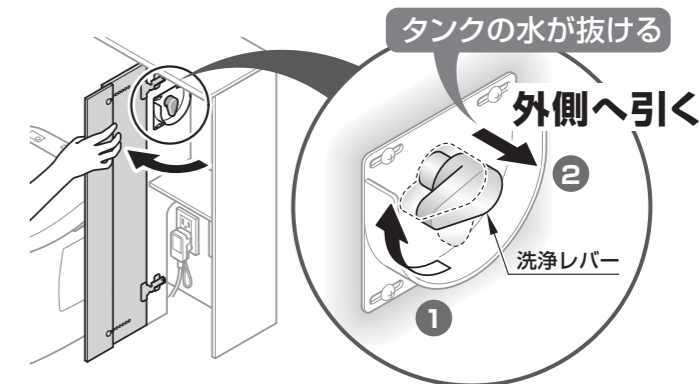


凍結予防限界温度

大便器・タンク	-10℃
手洗器部	-10℃

※ウォシュレット部に流動方式はありません。

- 2 洗浄レバーを、手前側いっぱいに戻したまま外側に引く
- 3 レバーがロックされ、タンク内の水が大便器に抜ける



長期間使わないとき

便器内にたまっている水は、不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
不凍液は、そのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。
便器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

- 1 洗浄レバーを内側に押し込んで下向きに回す
- 2 水抜栓または大便器キャビネット内の止水栓を操作して通水状態にする



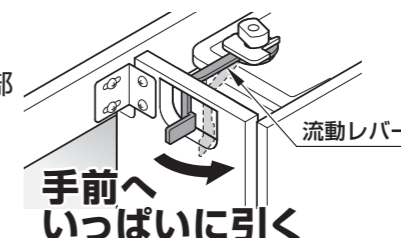
流動方式

レストパル(床排水) レストパルF(床排水)

- 1 流動レバーのあるキャビネットを開ける

I型	L型	
	右勝手	左勝手
天板の下に収納がある場合	天板の下に収納がない場合	
左扉を開ける	1 天板を開ける 2 棚板を取り外す	天板を強く持ち上げて外す
		※天板はキャビネットに強力な面ファスナーで固定されています。壁のクロスなどに十分気をつけながら取り外してください。

- 2 流動レバーを操作する
 - 流動レバーは、キャビネット開口部の内側にあります。



※再使用の場合、流動レバーを奥壁側へいっぱいに戻してください。

大便器・タンク レストパル(床排水) レストパルF(床排水) point!

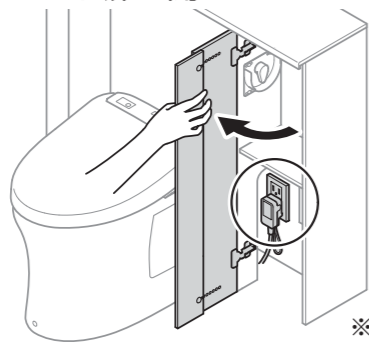
事前に、水抜栓(他社製品)または大便器キャビネット内の止水栓で、給水を止めてください。

参照 水抜栓の操作方法は、水抜栓の取扱説明書を参照してください。



水抜方式

- 1 キャビネット扉を開ける



※図はI型・L型左勝手の場合です。
L型右勝手の場合はP38の要領で天板を開けてください。

電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
凍結のおそれがないときはヒーターの電源プラグは抜いてください。




※図はコンセントが右側につく場合

手洗器部

水抜き方式

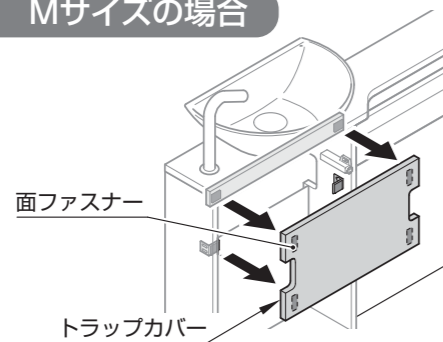
ハンドル式水栓

- 1 水栓のハンドルを開にする
 使いかた P13
- 2 水抜きが終わったら、水栓のハンドルを閉める

自動水栓

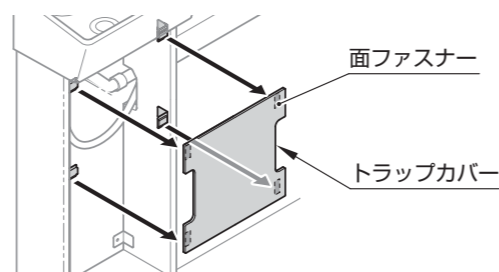
- 1 水抜き栓(他社製品)を操作し、給水を止める
※止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2 キャビネットの扉を開け、トラップカバーを取り外す

Mサイズの場合



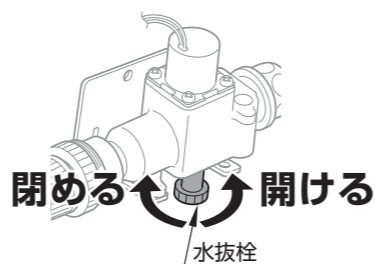
※トラップカバーは強力な面ファスナーで固定されています。落下などに十分気をつけながら、両手で取り外してください。

Sサイズの場合

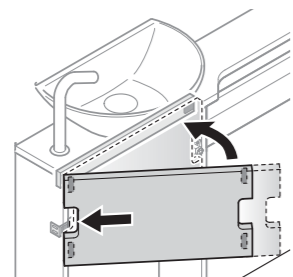


※トラップカバーは強力な面ファスナーで固定されています。落下などに十分気をつけながら、両手で取り外してください。

- 3 自動水栓機能部の水抜き栓を開ける
- 4 水抜きが終わったら、自動水栓機能部の水抜き栓を閉める
- 5 トラップカバーを取り付ける

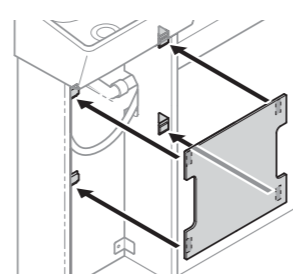


Mサイズの場合



※トラップカバーとトラップカバー固定材の面ファスナーをしっかり張り合わせてください。

Sサイズの場合



※トラップカバーとトラップカバー固定材の面ファスナーをしっかり張り合わせてください。

注意
取り付け時は強く押し込む
 必ず実行 落下してケガの原因となります。

point!

事前に、手洗器給水管用の水抜き栓(他社製品)を、排水(水抜き)側に切り替えてください。

参照 水抜き栓の操作方法は、水抜き栓の取扱説明書を参照してください。

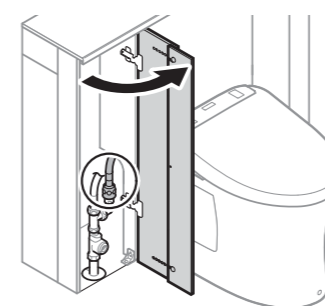


長期間使わないとき

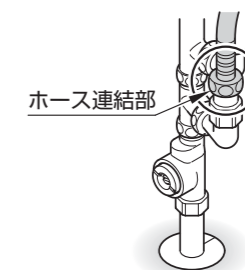
水抜き後、手洗器排水口に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。不凍液は、そのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。L型手洗器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

ハンドル式水栓の水が出ないときは、キャビネット左扉をあけてホースの連結部をお湯に浸した布であたためる




【床給水】



流動方式

水栓のハンドルを開き、少量の水を流す
※再使用の際は、ハンドルに戻してください。


 使いかた P13


トイレを長期間使わないとき

トイレに長期間水が溜まっていると、腐敗して皮膚の炎症を起こす原因に。使わないときは、水抜きを行いましょう！



- 長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。こうしておけば留守中に水漏れを起こさず、安心です。

 はじめに P12

大便器・タンク・手洗器部は
 **こんなときは P34** を確認してください

こんなときは

冬場の凍結を防ぐ

こんなときは

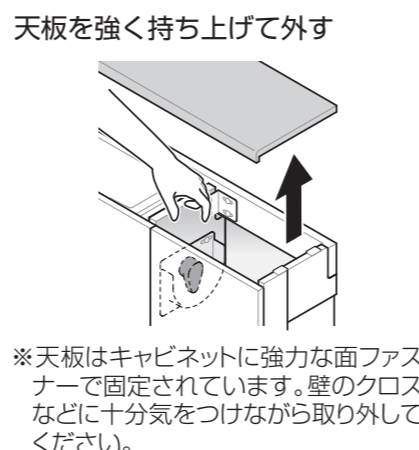
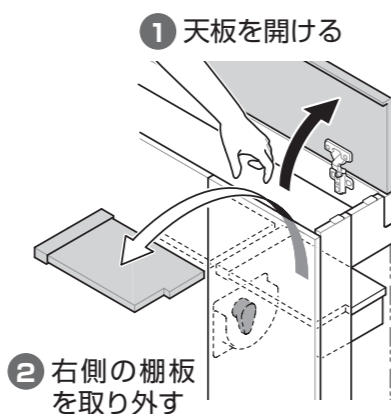
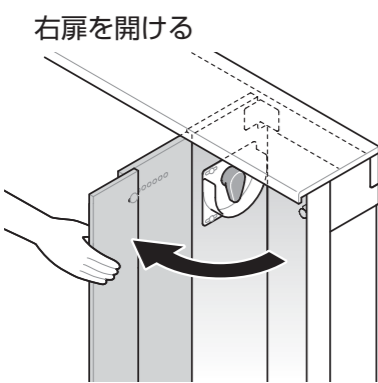
トイレを長期間使わないとき 冬場の凍結を防ぐ

停電やリモコンの電池が切れたとき

定期的な点検

- 1 洗浄レバーのあるキャビネットを開ける ※図はレストパルです。レストパルFの場合も同様です。
 ●図は洗浄レバーが右側にある場合です。
 ●立管が右側にある場合は、洗浄レバーは左側にあります。

I型	L型	
	左勝手	右勝手
	天板の下に収納がある場合	天板の下に収納がない場合



使用上のご注意

収納物が洗浄レバーに触れないようにする
 収納物が洗浄レバーに干渉し、止水不良となるおそれがあります。

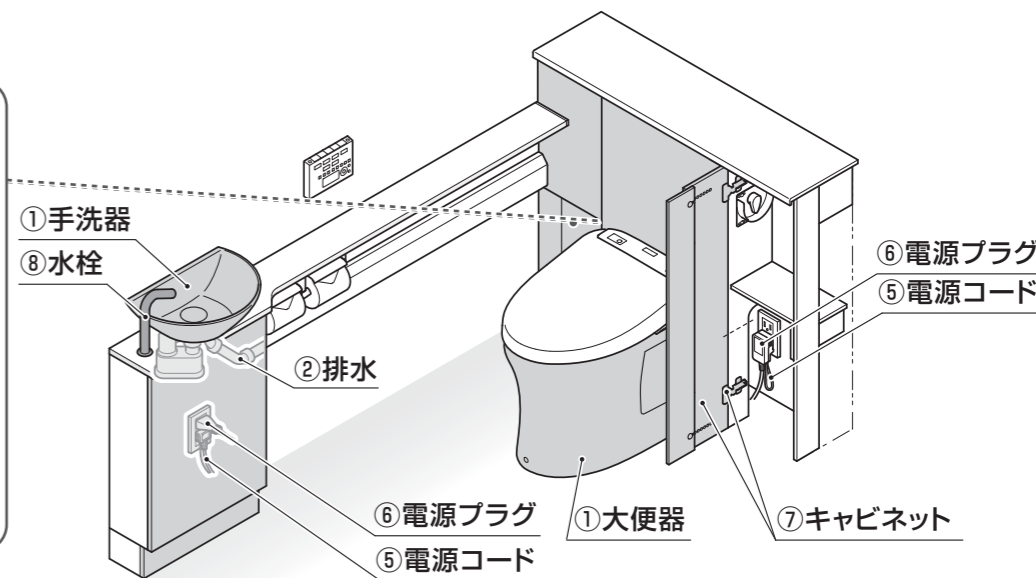


不具合があった場合は
 TOTOメンテナンス(株)
 修理受付センター
 TEL ☎ 0120-1010-05
 またはお求めの販売店へご連絡ください。

point!



商品の長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により、安全上支障が生じるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、商品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますようお願いします。



断水の時

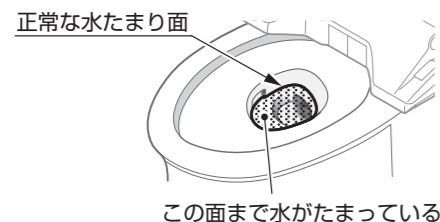
※図はレストパルです。レストパルFの場合も同様です。

- 1 大きめのバケツに水を入れ(8Lが目安)、便器ボウル面の中心をめぐらして勢いよく流す

便器ボウルから水があふれないように注意してください。

- 2 流した後、便器ボウル面の水位が低くなった場合は下図の水位まで水をつぎ足す

●便器配管からのにおいを防ぎます。



点検項目	点検部位 (商品図を参照)	具体的事象 (危害情報等)	点検目安	実施日(年/月/日)
傷、ひび割れがある	大便器、手洗器 給水・排水	① けが、床への水漏れ	年1回以上	/ / / / / /
		② 床や階下への水漏れ		/ / / / / /
傷み・はさみ込み・つぶれ・折れ曲がりがある	止水栓 給水ホース(給水管) 電源コード	③	年1回以上	/ / / / / /
		④ 火災、感電、水漏れ		/ / / / / /
		⑤		/ / / / / /
電源プラグに接触している	給水ホース(給水管)	④ 火災、感電	年1回以上	/ / / / / /
異常に熱い、異常音・異臭がする	電源コード 電源プラグ	⑤ けが、火災、感電	年1回以上	/ / / / / /
		⑥		/ / / / / /
扉の丁番・ヒンジ(開閉部品)にかたつき、はずれがある	キャビネット	⑦ 落下によるけが	年1回以上	/ / / / / /
木口のささくれ、ふやけ、膨れがある	キャビネット	⑦ けが	年1回以上	/ / / / / /
湯温変化が激しい(他水栓の同時使用はない)	水栓	⑧ やけど	年1回以上	/ / / / / /
レバーのがたつき、動きが悪い	水栓	⑧ 床や階下への水漏れ	年1回以上	/ / / / / /
水漏れがある	止水栓 給水ホース(給水管)	③ 感電や水漏れ	年1回以上	/ / / / / /
		④		/ / / / / /
	給水・排水	② 床や階下への水漏れ		/ / / / / /
	キャビネット内の床	⑦		/ / / / / /
ほこりが付着している	電源プラグ	⑥ やけど、火災	月1回	/ / / / / /

いんなきは

断水の時
停電やリモコンの電池が切れたとき

いんなきは

定期的な点検

故障かな?と思ったら

まず、この章をご覧くださいになり処置方法をお試してください



お問い合わせ先

それでも直らないときは、お取付店、販売店または TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターにご相談ください。

部品のご購入は

TOTO メンテナンス (株) TOTO パーツセンターにご相談ください。

注意

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



必ず実行



大便器

現象	原因	処置
水が出ない (流れない)	フィルターにごみが詰まっている。	フィルターの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。 お手入れ P28
	フィルター付止水栓が開いていない。	フィルター付止水栓を開いてください。 はじめに P12
	停電またはリモコンの電池が切れている。	電池を交換してください。緊急時に水を流したい場合は洗浄レバーで水を流してください。 こんなときは P38
水の出が悪い …タンクに水がたまるのが遅い (目安2分以上)	フィルターにごみが詰まっている。	フィルターの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。 お手入れ P28
水が漏れる 床と便器の間、および、 キャビネット内部底板 に水が漏れている	止水栓、給水管の結露。 (結露は梅雨時期などに多く発生するもので故障ではありません)	乾いた布でふきとって部屋の換気をしてください。
	上記以外	止水栓を閉めて修理を依頼してください。
水が止まらない	洗浄レバーがペーパーなどの収納物と干渉している。	収納物を洗浄レバーから離してください。
	流動レバーが開放されたままになっている。	流動レバーを戻してください。 こんなときは P35

手洗器

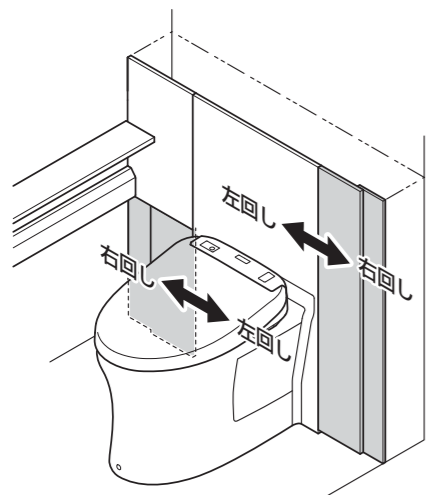
現象	原因	処置
水が出ない	フィルターや吐水口にゴミが詰まっている。	フィルターや吐水口キャップの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。 お手入れ P28.29
	フィルター付止水栓が開いていない。	フィルター付止水栓を開けてください。 使いかた P15
	自動水栓の場合、電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。 はじめに P12
	停電中または断水中である。	回復するまでお待ちください。
	自動水栓の場合、センサーをさえぎるものがある。	センサーをさえぎるものをとり除いてください。
	自動水栓の場合、センサーの表面が汚れている。	センサーの表面を掃除してください。 お手入れ P29
流量が少ない	フィルターや吐水口にゴミが詰まっている。	フィルターや吐水口キャップの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。 お手入れ P28.29
	フィルター付止水栓が十分に開いていない。	フィルター付止水栓を十分開くように調整してください。 使いかた P15
水が止まらない	自動水栓の場合、センサーをさえぎるものがある。	センサーをさえぎるものをとり除いてください。
	自動水栓の場合、センサーの表面が汚れている。	センサーの表面を掃除してください。 お手入れ P29
大便器洗浄時に 手洗器から 「ゴボゴボ」音がする	手洗器用排水トラップ内の水位が下がっていることが考えられます。 トラップ	手洗器用排水トラップに水を都度ためてください。 ※水栓から約5秒水を流してください。

※万が一上記の箇所を調べてみても、止水しない場合は、フィルター付止水栓を閉めて修理を依頼してください。

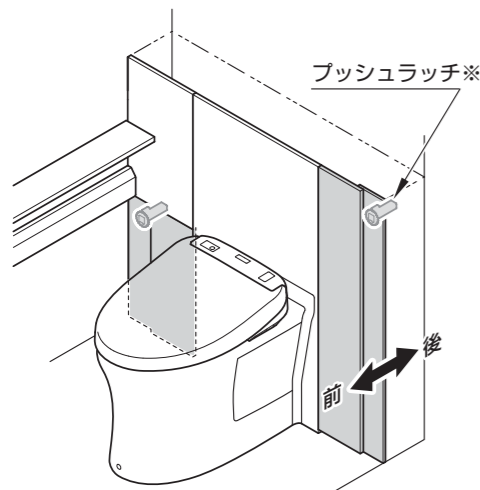
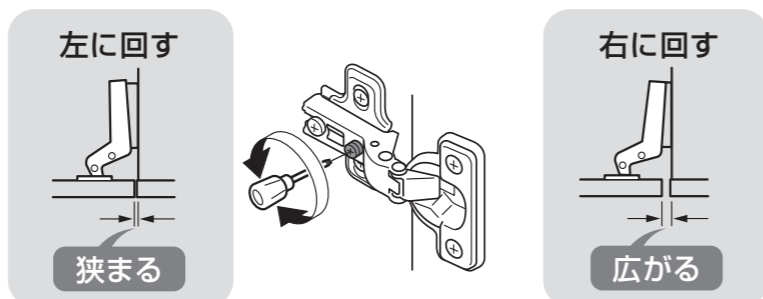
扉の調整

※図はレストパルです。レストパルFの場合も同様です。

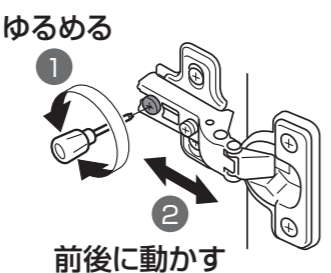
キャビネットの扉が長年の使用ですき間が不均一になったときは次の要領で調整してください。



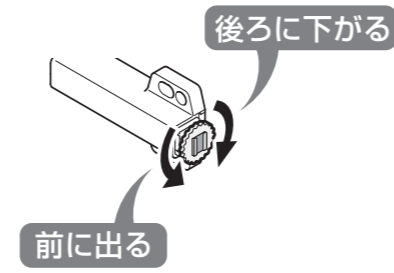
左右を調整する場合



前後を調整する場合



※プッシュラッチ部も前後調整することができます。



※タイプにより位置が異なります。

便器の詰まり除去

便器が詰まった場合、必ず止水栓を閉めてから市販の詰まり除去用の器具(商品名:ラバーカップなど)で詰まりを除去する。

※便器の上面近くまで水位がある状態でラバーカップを押し込むと、汚水があふれることがありますので、手動ポンプなどを使い、水位が便器の上面より10cm以上低くなってからご使用ください。

ラバーカップは、ゆっくりと押し込んで便器に密着させ、一気に引き上げてください。トイレトーパー以外の物が詰まった場合、配管が詰まる可能性がありますので、詰まりを押し流すのではなく、引き出してください。トイレ詰まりが直っていない可能性もあるので、バケツでゆっくり水を流してください。詰まりを解消できない場合は、専門業者へ依頼してください。

注意

禁止 詰まった状態で水を流さない
水を流すと汚水があふれて、家財などをぬらす
財産損害発生のおそれがあります。

point!

周囲に汚水が散らないよう、ビニルシートで便器を覆うことをおすすめします。

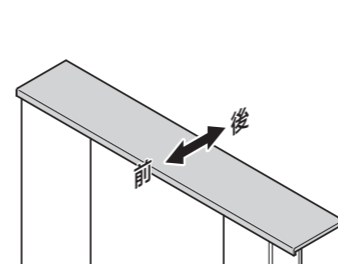
天板の調整

まるごと収納タイプの場合

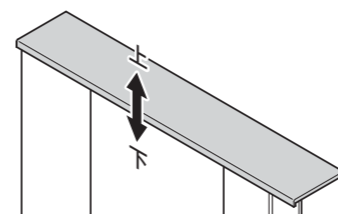
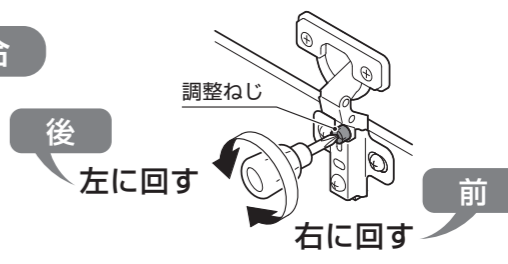
1 前後の調整

使用上のご注意

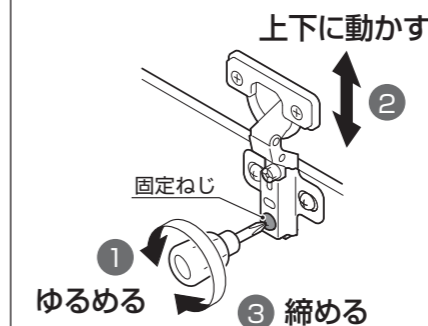
調整後固定ねじをしっかり締め付ける
締め付けていない場合は、天板が外れるおそれがあります。



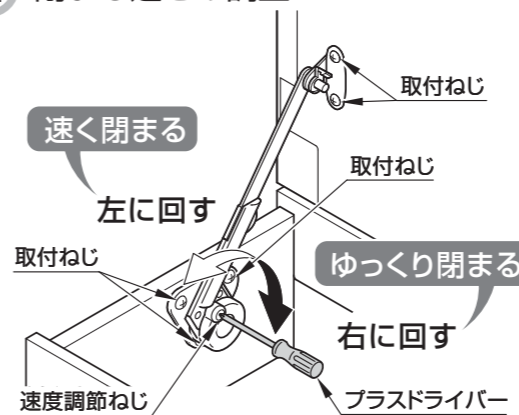
前後を調整する場合



上下を調整する場合



2 閉まる速さの調整 長年の使用により、閉まる速度が速くなります。適宜調整してください。



注意

調整時に弱めすぎない
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

禁止 分解、改造をしない
器具が破損し、けがの原因となります。

※速度調節部は、限度以上に回さないでください。
※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。
※取付ねじに緩みがないことを定期的に確認してください、緩みがあった場合は、増し締めを行ってください。

あなたの疑問にお答えします！



Q 便器まわりにできる黒いシミの原因は？

A 小便中のアンモニアや梅雨時の結露の水が原因です。

立位で小便をする際に、便器内のあたる場所によっては小便がはね返る場合があります。特に、木質系のフローリング床でそのまま放置されると小便中のアンモニアによって黒いシミが発生することがあります。

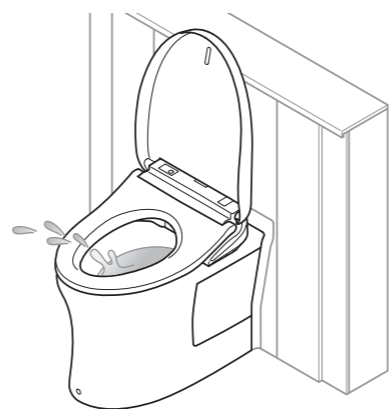


Point! 床にこぼれた水分は、すぐにふき取るようにしましょう。

Q トイレを使ったときの、あのイヤな「おつり」はなくせないの？

A 水たまりにあらかじめトイレットペーパーを浮かべておくと予防できます。

トイレ使用時の水はね、俗にいう「おつり」は便器に水たまりがあることが原因です。



- 汚物の形や量などによっては水がはね返ってくる場合がありますが、この水たまりには下水からの臭気を遮断する大切な役目があるため、なくすことはできません

Q 便器内に汚物は付着しないの？

A 汚物の種類や粘性によっては付着する場合があります。

便器ボウル内の乾燥面だけでなく便器内の水がたまっているところにも汚物が付着する場合があります。

- 便器の洗浄水だけでは洗い流せないことがあります。

お手入れ P24

Q 便器内の黒色やピンク色の汚れの原因は？

A カビの胞子や細菌が繁殖したものです。

便器の水たまり部や水出し穴付近などが黒く変色したり、ピンク色の汚れがつくことがあります。これは空気中に浮遊しているカビの胞子や細菌が便器に付着した汚れを栄養にして繁殖したものです。

Point! 汚れた場合は、トイレ用中性洗剤をトイレブラシなどにつけてこすり落としてください。

お手入れ P24

Q なぜ便器の表面に水滴がつくの？

A ガラスのコップに氷水を入れると、たちまちコップが汗をかくように、便器も汗をかくことがあります。

この汗を結露といいます。湿度が高く水温と室温の差が大きいほど発生しやすく、地下水を利用している場合や湿度の高い梅雨時、あるいは冬の暖房時などによく見られます。

※防露便器でも、室温と水温の差が15℃以上で室内の湿度が80%に達すると結露することがあります。

Q 細かい汚物の残りはなくせないの？

A まれにですが、一度の洗浄では流れきれない場合があります。

汚物の種類（下痢便など柔らかい軽い汚物など）によっては流れきれない場合があります。その場合は、もう一度流してください。

Q 立って小便をする場合のはね返りはなくせないの？

A 座って小便をすることで軽減することができます。

立って小便をする場合、小便がはね返り、便器外へ飛び出すことがあります。便器内にたまった水などに小便が当たり発生するものです。

Q 便ふたがキャビネットに当たるがありますが、故障や割れの原因となりませんか？

A クッション材をつけていますので、故障や割れの原因にはなりません。

Q 便器洗浄後に床下から「ピシャピシャ」と音がするのはなぜ？

A 洗浄後に便器の封水を確認するために、若干水があふれる（オーバーフローする）仕組みになっており、その際に排水管で音（ピタ、ピチャなどの音）が発生する場合があります。

Q バリウム残りはなくせないの？

A バリウムなどのように水に不溶で比重が大きいものの排出につきましては、一度の洗浄では流れきれない場合があります。あらかじめトイレットペーパーを敷いていただくと若干排出が良くなりますが、完全に流せない場合は、便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで溜水と混合した後に数回洗浄してください。

修理を依頼される前に、
「故障かな?と思ったら」**P40**を確認してください!



保証書

※この説明書のP51が保証書になっています。

確認してください!

- この商品は保証書の内容に従って保証されています。
取付日・取付店名・扱者印が記入してあることを確認してください。
また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書を確認してください。

保証について

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよく確認してください。
例えば、「取扱説明書・施工説明書、貼り付けラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。

保証期間を過ぎた場合は?

- 修理すれば使用できる商品についてはご希望により有料で修理させていただきます。
(例:パッキン・ダイヤフラムなどの摩耗劣化部品の交換を含む)
※「修理依頼について」「修理料金のしくみ」(本ページ下部)を確認してください。

部品の交換について

- 無料修理により取り外された部品・商品は、TOTO株式会社の所有となります。

補修用性能部品の供給期間

部品の供給期間は?

- 補修用性能部品(注1)の供給期間は製造中止後10年です。(注1)パッキンなどの機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取替の必要が発生する可能性の大きいもの

- ※水栓金具・ウォシュレット・電気温水器などの機器類については専用の取扱説明書を確認してください。
- ※扉などの面材については、製造中止後、2年の供給期間としております。供給期間経過後は、代替品にて供給させていただきますので、ご了承ください。
- ※商品のモデルチェンジなどにより、予告なく商品を製造中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼について

修理のご用命は 裏表紙

修理を依頼されるときは

- 各商品に付属されている「取扱説明書」をもう一度ご確認ください。ご相談の際は、次の事をご連絡ください。

- ① ご住所・ご氏名・お電話番号
- ② 商品名
- ③ 製品品番(保証書に記載)
- ④ 購入日
- ⑤ 故障内容、異常内容(できるだけ詳しく)
- ⑥ 訪問ご希望日

ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先

- 「TOTO(株)お客様相談室」または「TOTOメンテナンス(株)」(電話番号は裏表紙を参照してください。)

延長保証制度について

- ウォシュレット単体にて承っております。
- レストパル・レストパルFに含まれる他の機器については、対象外となります。

修理料金のしくみ

〈TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼の場合〉

標準修理料金は

技術料 + 部品代 + 訪問料 で構成されています

定期点検のおすすめ

- ウォシュレットの逆流防止装置(バキュームブレーカー、Oリング)は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。(水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。)
- 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検はTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼ください。

定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

お問い合わせ先

TOTOメンテナンス(株)修理受付センター

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

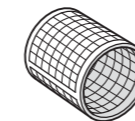
受付:年中無休 受付時間:8:00~19:00
訪問修理:年中無休(一部地域を除く) 営業時間:9:00~18:00

部品の交換

- ※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ※ウォシュレット・電気温水器・水栓の交換部品については、付属の取扱説明書をご覧ください。

交換部品

止水栓用給水フィルター



品番	66435R
希望小売価格(税別)	¥200

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間:9:00~17:00
(夏期休暇・年末年始を除く)
インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

交換部品・別売品のご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

TEL ☎ 0120-8282-55


FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間:平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)


※インターネットでの部品購入はTOTOWebショップへ
(24時間受付)
<http://www.toto.jp/ec/html/index.htm>

仕様

便器・タンク

仕様	レストパル 床排水	レストパル 壁排水	レストパルF 床排水	レストパルF 壁排水
便器	防露便器 セフィオンテクト 抗菌 床置タイプ			同・壁掛タイプ
洗浄方式	トルネード洗浄			
便器標準洗浄水量	大4.8L/小3.6L/eco小3.4L/男子小3.4L(F3AW・F3Aのみ)※1			
水たまり面				
排水位置	・排水心200タイプ 壁から200mm (まるごと収納タイプ※2、スリム収納タイプとも) ・排水心可変タイプ 壁から344～579mm (まるごと収納タイプ※2) 壁から258～493mm (スリム収納タイプ)	・排水心高さ90～155mm (後ろ抜き/左右抜き)	・排水心200タイプ 壁から200mm (まるごと収納タイプ※2) ・排水心135タイプ 壁から135mm (まるごと収納タイプ※2)	・排水心高さ90～155mm (後ろ抜き/左右抜き)
寒冷地対応	あり [ヒーター付便器・水抜併用方式 水抜方式(室内暖房併用) 流動方式]	—	あり [水抜方式(室内暖房併用) 流動方式]	—
給水方向	壁給水/床給水※3	壁給水/床給水※4	壁給水/床給水※3	壁給水/床給水※4
排水方向	床排水	壁排水	床排水	壁排水
給水圧力	最低必要水圧(流動時):0.05MPa 最高水圧(静止時):0.75MPa			
給水温度	0～35℃			
周囲使用温度範囲	0～40℃			
タンク	樹脂製(防露タンク)			

便座

仕様	レストパル 床排水	レストパル 壁排水	レストパルF 床排水	レストパルF 壁排水
機種	ウォシュレットアプリコットF1A・F2A・F3A・F3AW(オート便器洗浄付)  詳細は、ウォシュレットアプリコット取扱説明書を参照してください。			
サイズ	エロンゲート			

電気温水器

 電気温水器に付属の取扱説明書を参照してください。

キャビネット・カウンター

仕様	材質
大便器キャビネット:前板・扉 手洗器キャビネット:扉	木質製 + シート張り
	木質製 + 塗装
カウンター 大便器キャビネット:天板	木質製 + シート張り
	木質製 + シート張り
手洗器 キャビネット:けこみ (レストパルのみ)	木質製 + シート張り
その他	大便器キャビネット:間口750～960mm※5 (レストパル室内排水立管対応タイプ:間口622～727mm)

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散区分などに関する表示

ホルムアルデヒド発散区分	F☆☆☆☆ (住宅部品表示ガイドラインによる)	
構成材料	ホルムアルデヒド発散建築材料 パーティクルボード MDF 合板 接着剤	発散区分 F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆ F☆☆☆☆
VOC放射性能	4VOC基準適合(木質建材)	
表示ルール	住宅部品VOC表示ガイドラインによる	

4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

手洗器

仕様	内容
手洗器	陶器製 セフィオンテクト 抗菌

自動水栓(Mサイズ手洗器用)

 自動水栓に付属の取扱説明書を参照してください。

備考

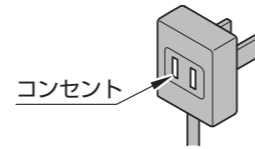
- ※1 男子小3.4Lは、男子小用時(立ち姿勢)のオート便器洗浄のみ。
- ※2 I型・手洗器ありの場合は収納タイプ。
- ※3 寒冷地仕様(水抜方式)の場合は床給水のみとなります。
- ※4 排水管左右抜きの場合は、床給水に対応していない場合があります。
- ※5 タイプによって設置できる間口が違う場合があります。

自動水栓 (Sサイズ手洗器用)

仕様	内容
定格消費電力	待機時0.4W 作動時0.6W
定格電源	AC100V (50/60Hz)
使用環境温度	一般地: 1~40℃
吐水量	2L/分 (定流量弁内蔵)

定格消費電力

仕様	内容
便座	F1A・F2A・F3A: 1280W / F3AW: 1282W <small>参照</small> 詳細は、ウォシュレット取扱説明書を参照してください。
大便器(ヒーター付便器)	35W
タンク(ヒーター付タンク)	2W
ヒーター付便器の電源プラグコンセント	1500Wまで
定格電源	AC100V 50/60Hz



JIS Z2801の基準を満たした(一社)日本建材・住宅設備産業協会基準による抗菌に関する表示 (※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。)

抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
抗菌加工部位	便器ボウル・上面・手洗器ボウル
抗菌剤の種類	無機系
抗菌性能持続性	(一社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
安全性	(一社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、製品表面はよく掃除された状態に保ってください。

※セフィオンテクト品が対象となります。

保証書

この保証書は、保証書の記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。お取付日から下記期間中に故障が発生した場合は、この保証書をご提示のうえ、お取付店またはTOTOメンテナンス(株)〒105-8306 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング 修理受付センター TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02 に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ	様
	おところ	
取付店名		印
	TEL	- -
お取付日 年 月 日		
備考		
品名	住宅用システムトイレ	
	品番	UWB UNME/UNMF/UNMG UWK
保証期間		本体
		お取付日から 2カ年

お客様へ

本書をお受け取りになるときに、お取付店名・扱者印・お取付日が記入されていることを確認してください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。ウォシュレット単体・電気温水器単体で延長保証を申し込みされている場合は、お申し込み時にお受け取りの保証書を使用してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合は、表記の期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お取付店またはTOTOメンテナンス(株) 修理受付センターにご依頼のうえ、出張修理に際して本書を提示してください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、TOTOメンテナンス(株) 修理受付センターに相談してください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- 本書(この保証書)の提示がない場合
- 本書(この保証書)にお客様名、お取付店名、お取付日(お引き渡し日)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間・高頻度の使用、車両、船舶などへの設置・搭載)に使用された場合の故障および損傷
- 展示品、見本品
- 指定以外の水質・水圧・水量の供給による不具合
- 異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合
- 凍結による不具合
- 納入後の輸送、落下、保管環境などによる故障および損傷
- 取り付け上の故意、過失や施工説明書記載以外の取り付けによる不具合
- 外観上のキズなどでお引渡し時にお申し出のなかったもの
- 使用上の故意、過失や取扱説明書記載以外の使用または専門業者以外による不当な修理、分解、改造による故障および損傷
- ご使用後の損傷
- お引き渡し後の移設などに起因する故障および損傷
- 塗装の色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗、さび、カビ、変質、変色などの不具合

- 金属粉、砂、ごみなど異物の配管内流入、および水あか固着に起因する不具合
- 消耗部品(乾電池など)の消耗・劣化による不具合
- 適切な使用、維持管理が行われなかったことに起因する水漏れ、膨れ、汚れ、さび、詰まりなどの不具合
- 日常のお手入れ箇所の摩耗・劣化による不具合(例:止水栓のフィルター・水抜栓などのパッキンやOリングなど)
- ねずみ、昆虫などの動植物に起因する不具合
- 建築躯体の変化や強度不足・強度低下など、商品本体以外の不具合に起因する商品の不具合
- 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
- 海岸、温泉、工業地、工事現場およびその周辺地域における公害、塩害、ガス害(硫化水素など)、煤煙、金属粉飛散などの特異環境に起因する不具合
- 天災地変(地震、風水害、土砂災害、黄砂、落雷、爆発、噴火、津波、火災、地盤沈下、雪害など)による故障および損傷
- 戦争・暴動など破壊行為や事件・事故に起因する故障および損傷
- お取り付け時、実用化された技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

〈部品交換について〉

無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO(株)の所有となります。
 ※本書は上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、TOTO(株)お客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにお問合わせください。

〈メンテナンス記録〉

修理完了時にお渡しする修理伝票は修理内容を記載していますので大切に保管してください。

TOTO株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
 お客様相談室 TEL ☎0120-03-1010 FAX ☎0120-09-1010